

IDWR

2025年第14週(3月31日～4月6日)

静岡県

Infectious Diseases Weekly Report Shizuoka

感染症週報

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に
基づく感染症発生動向調査より

作成 静岡県健康福祉部感染症対策課／静岡県環境衛生科学研究所

(2025年4月11日公開)

インフルエンザの流行が、流行期の目安である1を下回り、いったん終息しました。(定点当たり患者数 0.8)

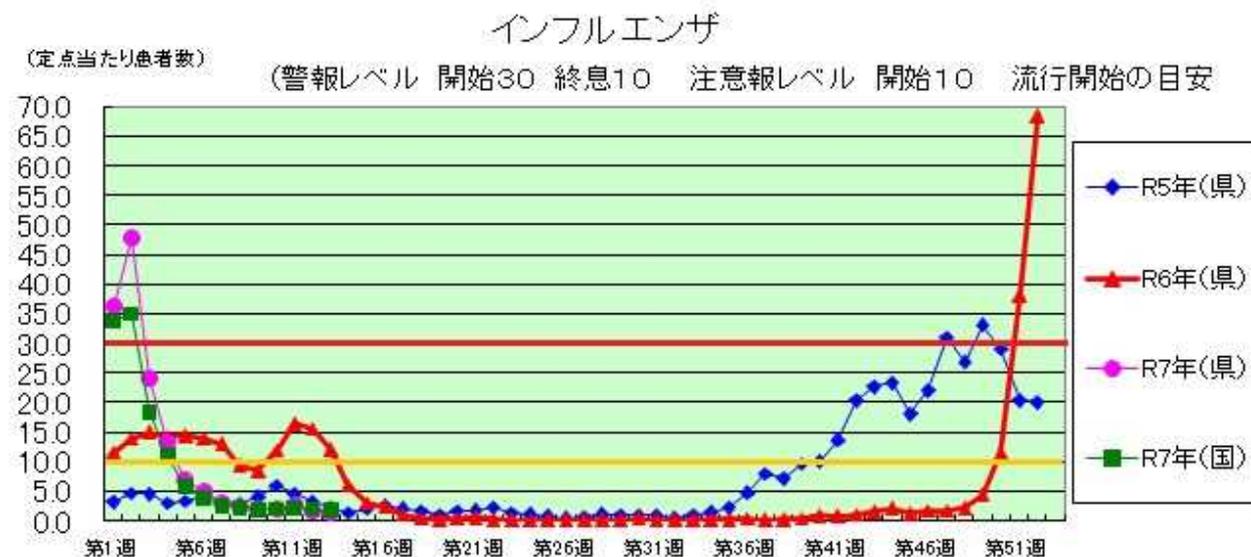
インフルエンザは、第14週(3/31~4/6)に定点当たり患者数が0.8となり、流行期の目安である1を下回りました。ただし、春休み期間中の集計であるため、新学期になると再度患者数が増加し、流行期の基準値1を超える可能性もあります。

2024年42週(10/14~10/20)に流行期に入り、1を下回ったのは24週間ぶりです。

インフルエンザの流行がなかったコロナ禍を除いた、過去10シーズンの終息時期は、第17週から第22週(4月下旬~6月上旬)で、例年5月上旬に終息することが多くなっており、例年より3~4週間早い終息となりました。

インフルエンザの流行はいったん終息しましたが、新型コロナウイルス感染症やマイコプラズマ、RSウイルス感染症、百日咳といった呼吸器感染症の報告が多い状況が続いていますので、**日頃から、県民の皆様には、咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策をお願いします。**

※インフルエンザの定点当たり患者数とは、県内139の内科・小児科定点医療機関から報告された1週間の患者数を施設数139で割った数値です。※流行開始の目安とされている定点当たり患者数は1、注意報レベルは10、警報レベルの開始は30、警報レベルの終息は10です。

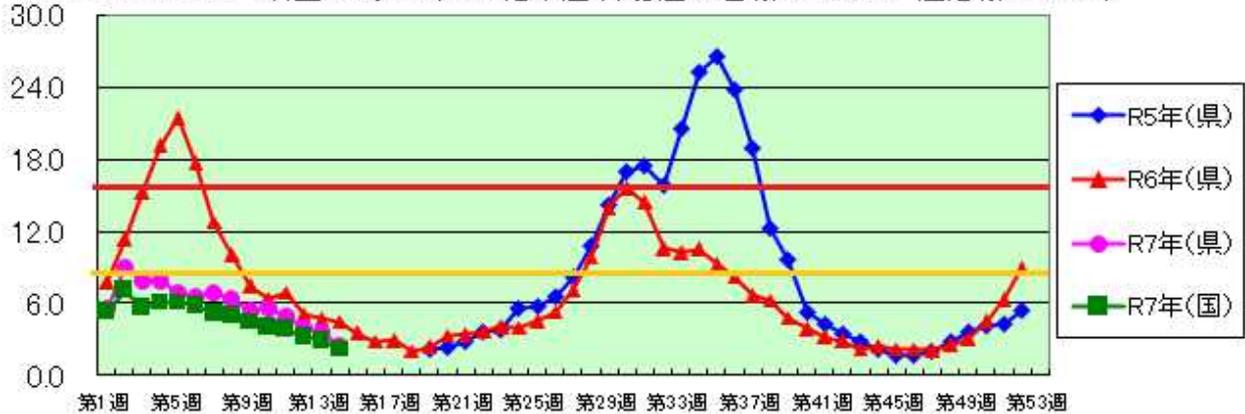


新型コロナウイルス感染症はゆっくりと下がっています

第3週(1/13~1/19)の定点当たり患者数は7.77と注意報基準値の8を下回ったため、感染拡大注意報を解除しました。第14週(3/31~4/6)の定点当たり患者数は2.50となっており、第3週以降、定点当たり8人台から2人台へゆっくり下がってきました。しかし、県内の新型コロナウイルスは、今年2月以降、流行している株がKP.3系統からXEC系統に徐々に入れ替わってきています。重症者が増えるという情報はありませんが、去年の秋以降KP.3系統にかかった人が、再度XEC系統にかかる可能性はあります。

県民の皆様には、引き続き、咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に努めていただくとともに、高齢者でこの秋冬に未接種の方はワクチン接種を検討していただくようお願いします。

(定点当たり患者数) 新型コロナウイルス感染症(県独自の警報レベル16 注意報レベル8)



RSウイルス感染症が流行入りしました(定点当たり患者数は0.55)

RSウイルス感染症の定点医療機関当たり1週間の報告数が、第10週において1.07人と1を超えましたので、県は流行期に入ったと判断しました(RSウイルス感染症には、国が定める注意報や警報の基準値はありませんが、静岡県では0.5で「流行が始まる可能性あり」、1以上で「流行期に入っている」と考えています。)

静岡県内のRSウイルス感染症の定点医療機関当たり1週間の報告数は、第5週(1月27日~2月2日)に0.64で、0.5を超え、その後も0.5~0.8台を推移していました。県内の患者の年齢は、第14週では約90%が2歳以下です。過去には、いったん1以上となると、11~18週間1以上の流行が続いています。なお、昨年2024年に1以上だった期間は、第16週(4月15日~21日)から第32週(8月5日~11日)までの17週間でした。

RSウイルス感染症は、飛沫感染(咳、くしゃみの飛び散り)や接触感染(鼻水や痰、だ液等を触る)でうつります。うつってから発症するまでの潜伏期間は約5日、人にうつす感染期間は発症後約1週間です。

症状は、発熱、咳、鼻水、喘鳴(ゼーゼー、ひゅーひゅーの呼吸)です。年長児や成人では、軽いかぜ症状ですむ場合も多いですが、乳児早期(特に2か月以下の赤ちゃん)に感染した場合は、急性細気管支炎や肺炎となり、哺乳低下や呼吸困難で入院したり、さらには人工呼吸管理を要したりすることもあります(感染した乳幼児の約30人に1人は入院するという報告もあります)。

RSウイルス感染症専用の有効な治療法はなく、水分補給の点滴や酸素投与などの対症療法のみです。赤ちゃんがいる家庭では、かぜ症状のある方から赤ちゃんにうつさないようにマスク着用や手洗いを励行してください。赤ちゃんが、咳鼻水やゼーゼーで、ミルクの飲む量が減ってきたら、早めに小児科医院を受診しましょう。

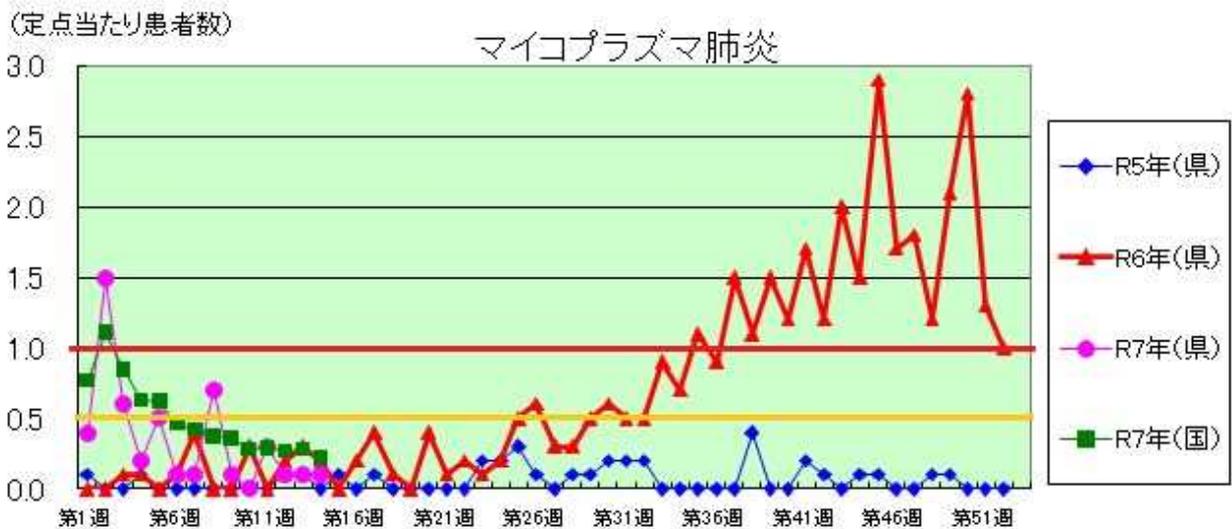


マイコプラズマ肺炎が流行しています

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマによる細菌感染症です。感染経路は、主に飛沫感染と接触感染で、家族内や学校など濃厚接触が多い場所で、しばしば集団発生が起こります。潜伏期間は2～3週間程度で、主な症状は発熱、全身倦怠感、頭痛、咳などで、解熱後も咳が長く続くことがあります。必ずしも肺炎にならず、上気道炎や気管支炎も多いです。全年齢層に感染が見られますが、若年齢層に多く、14歳以下が6～8割を占めます。過去の疫学調査研究では、3～7年程度に1回国内で大きな流行が起こっています。

2024年第29週(7/15～7/21)以降、定点当たり患者数※0.5以上が続き、第35週(8/26～9/1)は1.1となりました。(第14週(3/31～4/6)は0.1)国は基準値を定めていませんが、県感染症情報センターでは、0.5以上が継続した場合、流行が始まる可能性あり、1以上では確実に流行していると考えています。(県内の定点当たり患者数が1以上となったのは、2019年第51週(12/16～12/22)以来です。)今年2025年に入ってから、第3週(1月13日～19日)に1.5まで上昇しましたが、その後は0～0.7(平均0.24)で推移しています。

マイコプラズマ肺炎の過去の流行では、1,2年間にわたって患者数が多い期間が続いていますので、県民の皆様には、引き続き、人混みでのマスク着用、咳エチケット、適切な換気と手洗いなど、飛沫・接触感染の対策に御協力をお願いします。



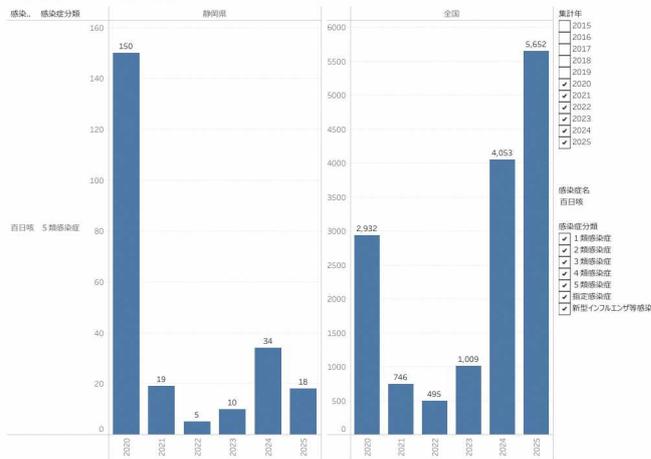
今後流行が懸念される感染症①～百日咳～

第6週(2/3～)以降、1週間に1～2人の百日咳患者が県内医療機関から報告されることが多くなり、直近の第14週は5人の報告がありました。コンコンという咳が連発して夜眠りにくい場合には、マスク可能な方は着用して、早めに受診しましょう。

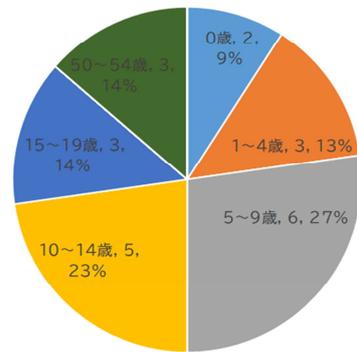
年齢分布では5～9歳が最多で27%を占め、続いて10～14歳が23%となっています。5種混合ワクチンをまだ打っていない赤ちゃんがいる家庭で、兄弟が咳症状がある場合には赤ちゃんに近づかないようにしてください。赤ちゃんを世話する人が咳をし出した場合他の人に代わってもらうか、交代が難しい場合はマスクをしっかりと着用してください。

なお、生後6か月以下の赤ちゃんが百日咳にかかると呼吸がしにくくなるなど重症になる場合がありますので、2か月になったらすぐに5種混合ワクチン(百日咳ワクチンを含んでいます)を接種しましょう。

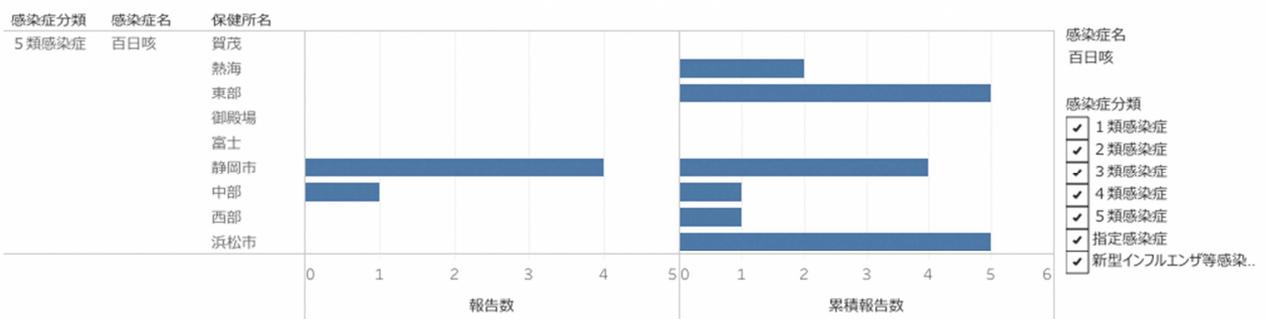
全数把握感染症年別累計



年齢分布



全数報告感染症（保健所別集計）



保健所名
すべて

感染症名
百日咳

感染症分類

- 1類感染症
- 2類感染症
- 3類感染症
- 4類感染症
- 5類感染症
- 指定感染症
- 新型インフルエンザ等感染..

週選択

2025年 第14週

今後流行が懸念される感染症②～伝染性紅斑～

伝染性紅斑が、第3週(1月13日～19日)の0.51以来、第13週0.93、第14週0.87と0.5を超えることが続いています。

県は、伝染性紅斑が流行間近と判断しています。(国が定める警報の基準値は2ですが、静岡県では0.5で「流行が始まる可能性あり」、1以上で「流行期に入っている」と考えています。)

直近の県内では、伝染性紅斑にかかる人は3～9歳の子どもが主になっています。子どもがかかっても、軽い風邪症状のあと、両頬や腕に淡いピンクの発疹が出ては消えるだけのことがほとんどで心配は要りません。

妊婦さんがかかると赤ちゃんがしんどくなることがありますので、妊婦さんで多数の子どもに接する方は、かからないようにマスク着用が望ましいです。

家族が伝染性紅斑になった場合、妊婦さんは産科医院に相談してください。



感染症発生動向調査 令和7年第14週(3/31～4/6)の動向

警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつづくと疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値(開始基準値)以上で開始し、別の基準値(終息基準値)未滿で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

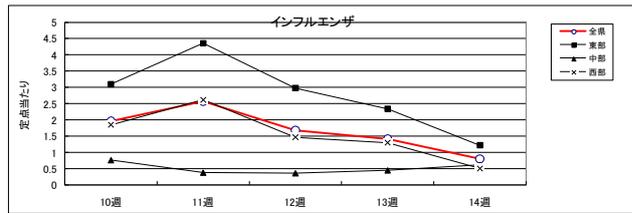
疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

【今週のコメント】

第14週(3/31～4/6)の感染症発生動向調査では、静岡県内のインフルエンザの定点当たり報告数は0.8人となり、前週の1.42人から減少し、流行期入りの目安である1を下回りました。新型コロナウイルスの定点当たり報告数も2.5人となり、前週の3.61人から減少しました。

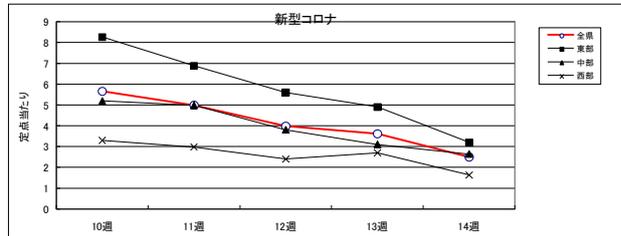
【インフルエンザ】

全県で罹患数111、定点当たり0.8の患者発生があり、前週の1.42から減少した。定点当たり東部地区で1.22、中部地区で0.62、西部地区で0.51の患者が発生した。



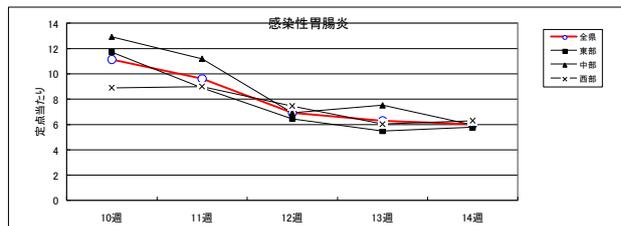
【新型コロナ】

全県で罹患数348、定点当たり2.5の患者発生があり、前週の3.61から減少した。定点当たり東部地区で3.2、中部地区で2.64、西部地区で1.64の患者が発生した。



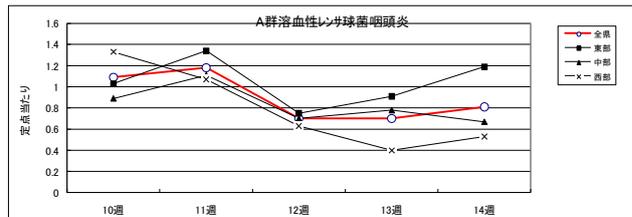
【感染性胃腸炎】

全県で罹患数535、定点当たり6.01の患者発生があり、前週の6.29から減少した。定点当たり東部地区で5.78、中部地区で5.96、西部地区で6.3の患者が発生した。



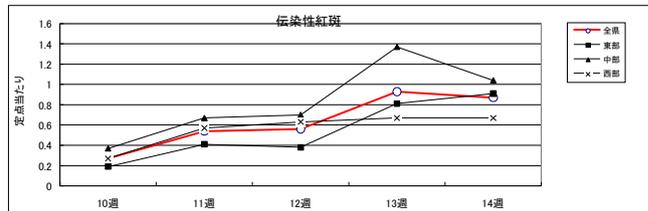
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

全県で罹患数72、定点当たり0.81の患者発生があり、前週の0.7から増加した。定点当たり東部地区で1.19、中部地区で0.67、西部地区で0.53の患者が発生した。



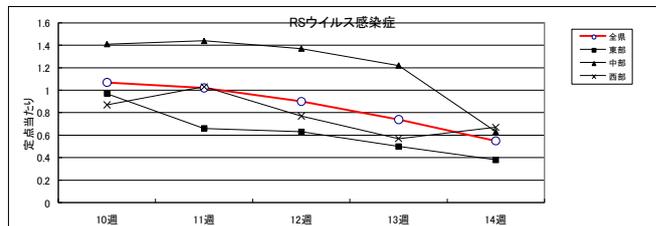
【伝染性紅斑】

全県で罹患数77、定点当たり0.87の患者発生があり、前週の0.93から減少した。定点当たり東部地区で0.91、中部地区で1.04、西部地区で0.67の患者が発生した。



【RSウイルス感染症】

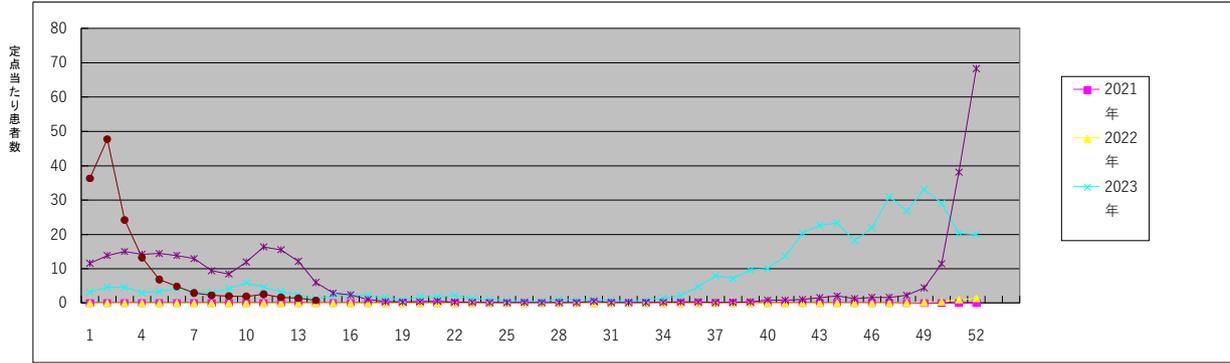
全県で罹患数49、定点当たり0.55の患者発生があり、前週の0.74から減少した。定点当たり東部地区で0.38、中部地区で0.63、西部地区で0.67の患者が発生した。



【その他】

- ・麻疹、風疹は患者発生なし。
- ・全国のインフルエンザの定点当たりの患者報告数は1.2で前週の1.85から減少した。警報レベルの保健所を有する都道府県は0で変わらず、注意レベルの保健所を有する都道府県も4で変わらなかった。
- ・全国の新型コロナの定点当たりの患者報告数は2.14で前週の2.92から減少した。
- ・静岡県において第14週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)感染性胃腸炎(6.01)、2)新型コロナ(2.5)、3)伝染性紅斑(0.87)、4)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(0.81)、5)インフルエンザ(0.8)、6)RSウイルス感染症(0.55)であった。

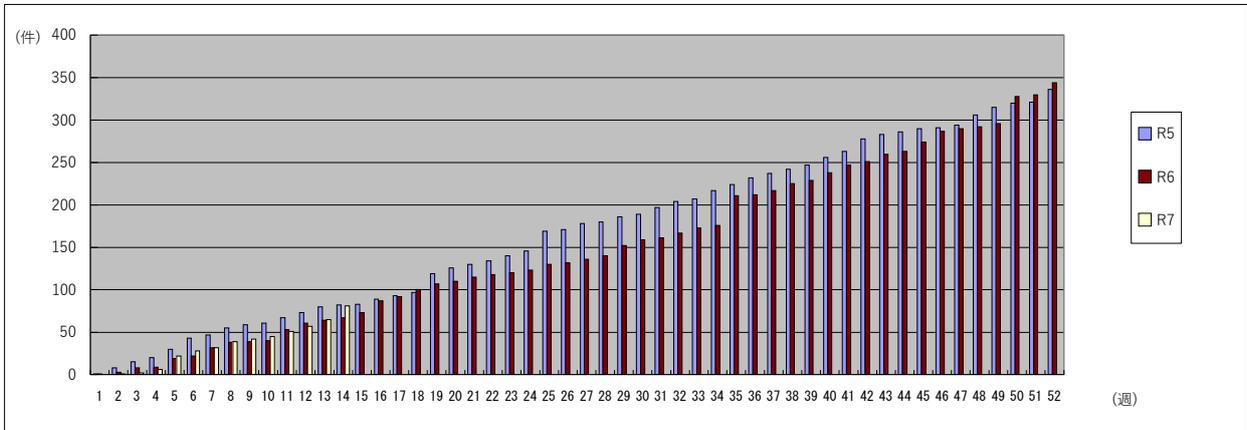
【インフルエンザ罹患数推移】



【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2024/2025シーズン)】 (令和6年第36週～)

週	型	A/H1	A/H3	B/山形	B/Victoria
		pdm09		系統	系統
R6年 第36週～第40週	静岡県	13			
	静岡市				
	浜松市				
R6年 第41週～第45週	静岡県	3	8		
	静岡市	1			3
	浜松市	2			
R6年 第46週～第50週	静岡県	20	8		
	静岡市	11	1		
	浜松市	7	1		
R6年 第51週～第52週	静岡県	17	1		
	静岡市	39	1		
	浜松市	18	2		
R7年 第1週～第5週	静岡県	19	3		
	静岡市	24			
	浜松市	25	2		
R7年 第6週～第10週	静岡県	4	1		
	静岡市	49			1
	浜松市	6			
R7年 第11週	静岡県		1		
	静岡市	1			
	浜松市				
R7年 第12週	静岡県				
	静岡市				
	浜松市				1
R7年 第13週	静岡県				3
	静岡市				
	浜松市				
R7年 第14週	静岡県				
	静岡市				
	浜松市				
合計		259	29	0	8

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】
・第14週は前年同期比1.2倍であった。



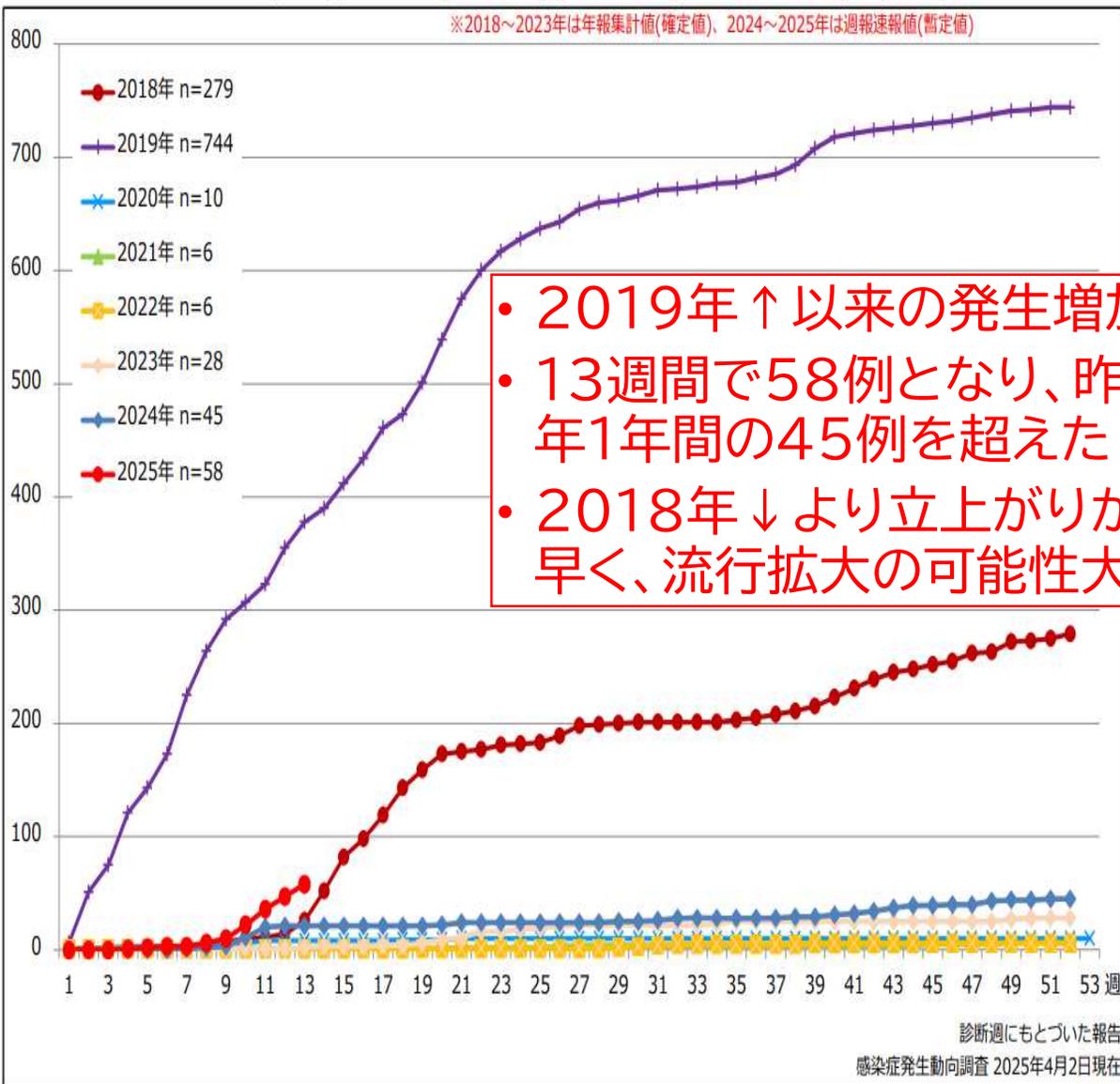
麻疹(はしか)って、どんな感染症？

- **感染力最強ウイルス**で、感染者1人から未感染者約15人に感染し(コロナの5倍)、ほぼ全員が発症
- **空気感染**するので、同じ空間にいただけで感染
- **治療薬は無し**(抗麻疹ウイルス薬なし)
- **ワクチンあり**(麻疹・風疹定期接種2回:1歳と5歳)
- 感染者**数100人に1人は死亡**(江戸時代は「命定め」)
- 症状は、高熱・咳鼻水・目の充血⇒赤いヒョウ柄発疹が顔から全身へ、**消耗が激しくほとんどが入院**
- 合併症は、**中耳炎(7%)、肺炎(6%)、脳炎(0.1%)**等

麻疹 今年の国内発生状況① (国立健康危機管理研究機構のサイトより)

1. 麻疹累積報告数の推移 2018~2025年 (第1~13週) (2025年は3月30日まで)

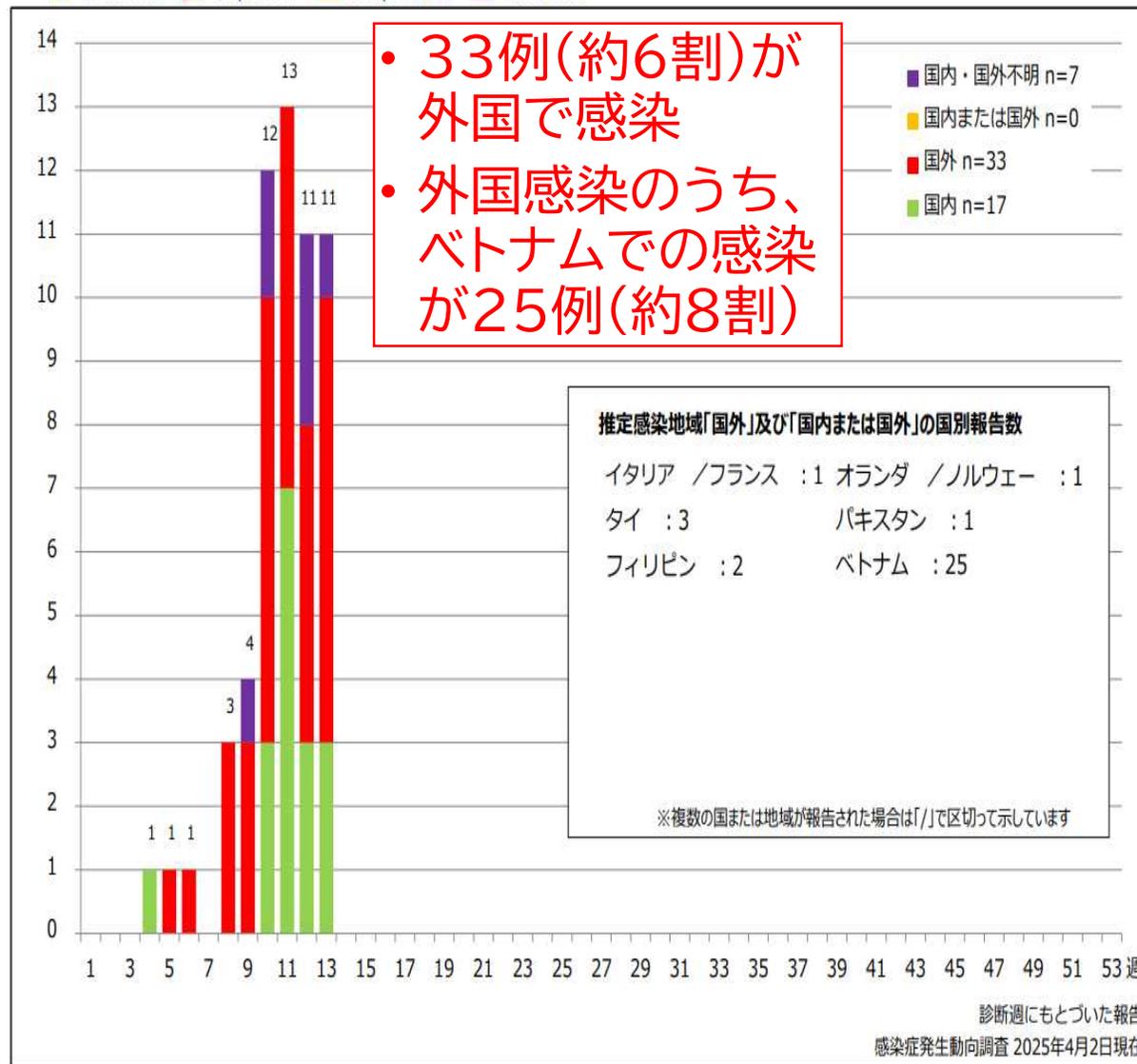
Cumulative measles cases by week, 2018-2025 (week 1-13) (based on diagnosed week as of April 2, 2025)



8. 週別推定感染地域(国内・外)別麻疹報告数 2025年 第1~13週 (n=57) (2024年12月30日~25年3月30日)

Weekly measles cases by acquired region, week 1-13, 2025 (based on diagnosed week as of April 2, 2025)

Domestic Imported Unspecified Unknown

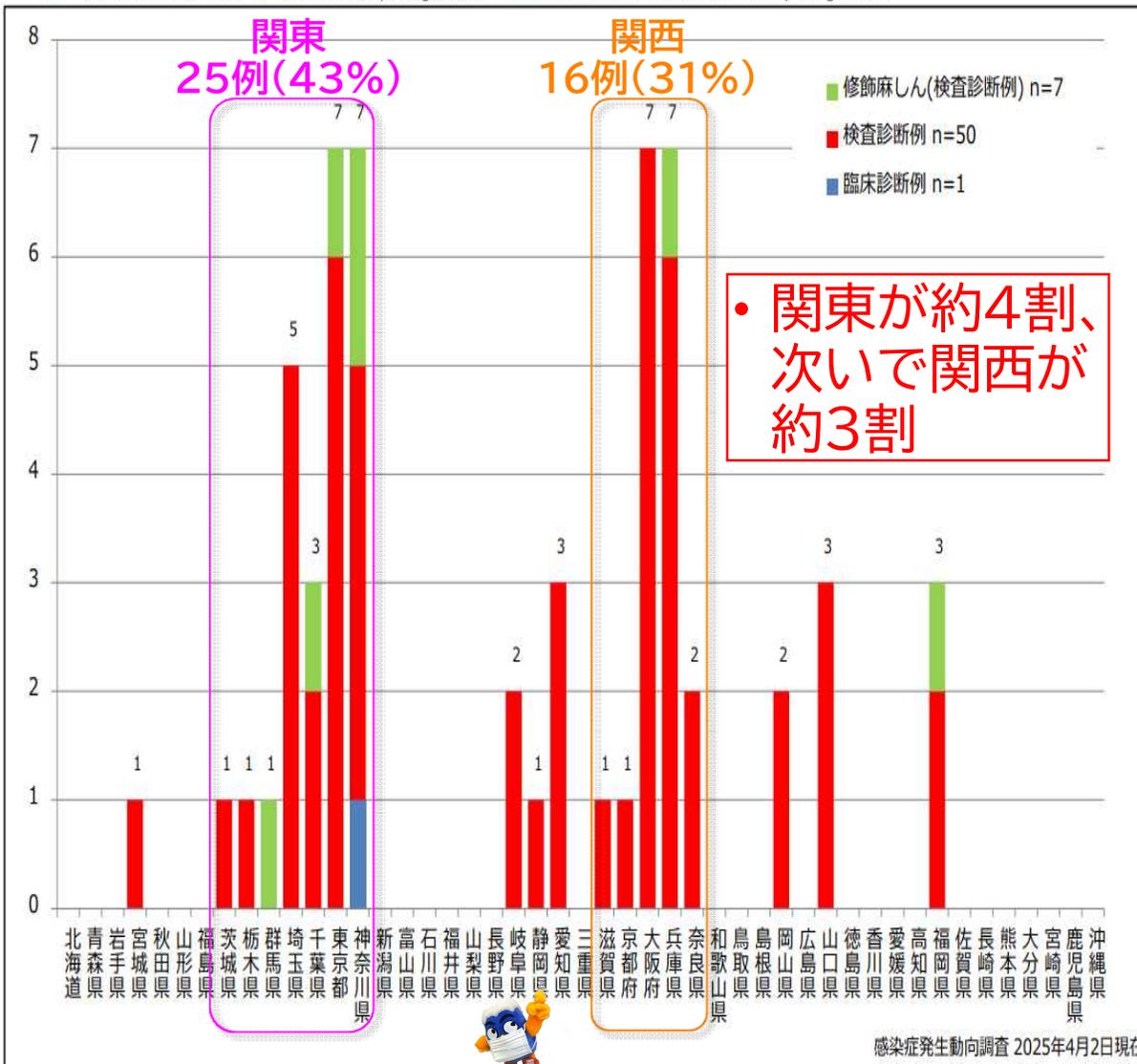


麻疹 今年の国内発生状況② (国立健康危機管理研究機構のサイトより)

4. 都道府県別病型別麻疹累積報告数 2025年 第1~13週 (n=58) (2024年12月30日~25年3月30日)

Cumulative measles cases by prefecture and methods of diagnosis, week 1-13, 2025 (as of April 2, 2025)

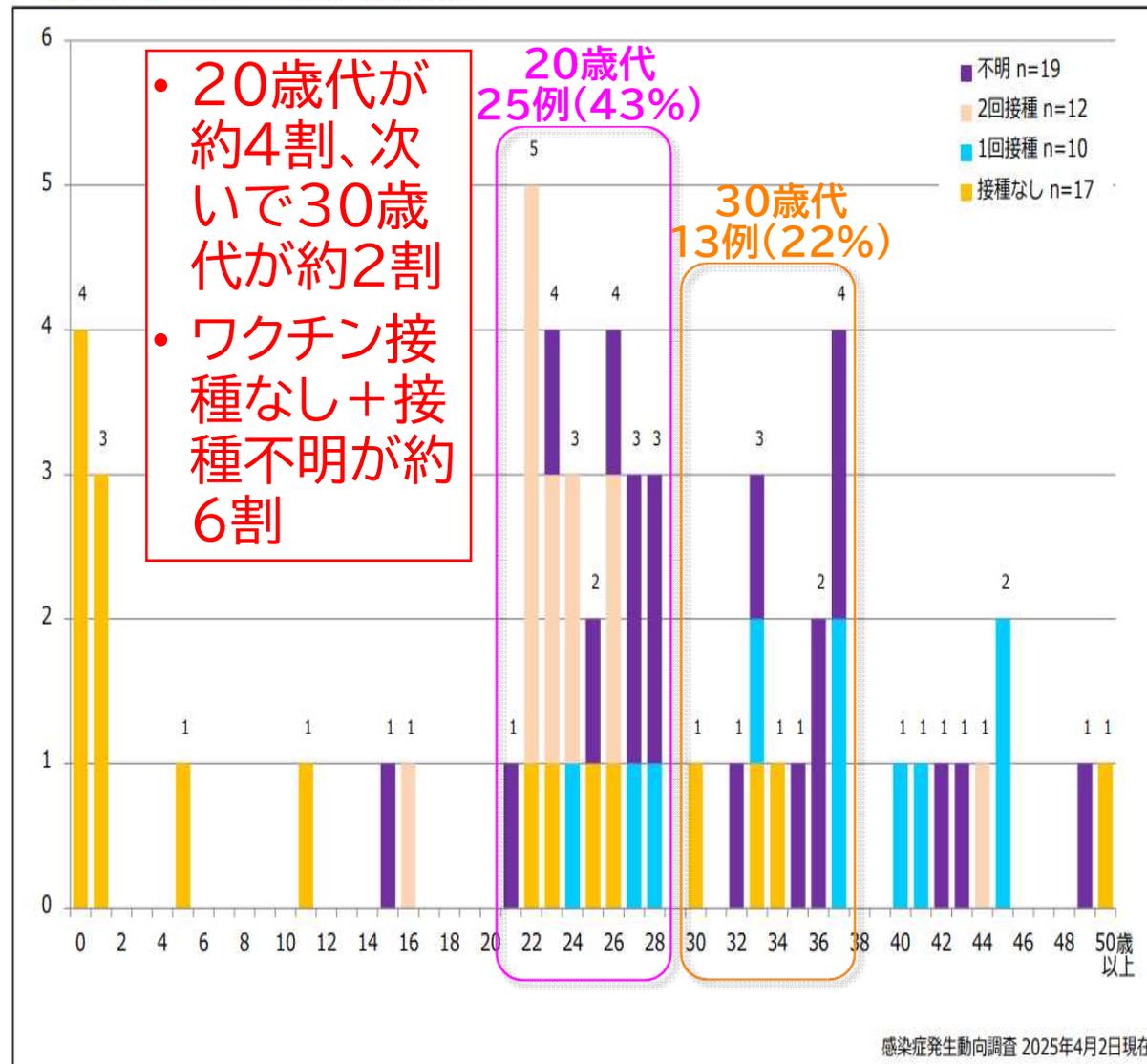
■ Clinically diagnosed ■ Laboratory diagnosed ■ Modified measles, Laboratory diagnosed



6. 年齢群別接種歴別麻疹累積報告数 2025年 第1~13週 (n=58) (2024年12月30日~25年3月30日)

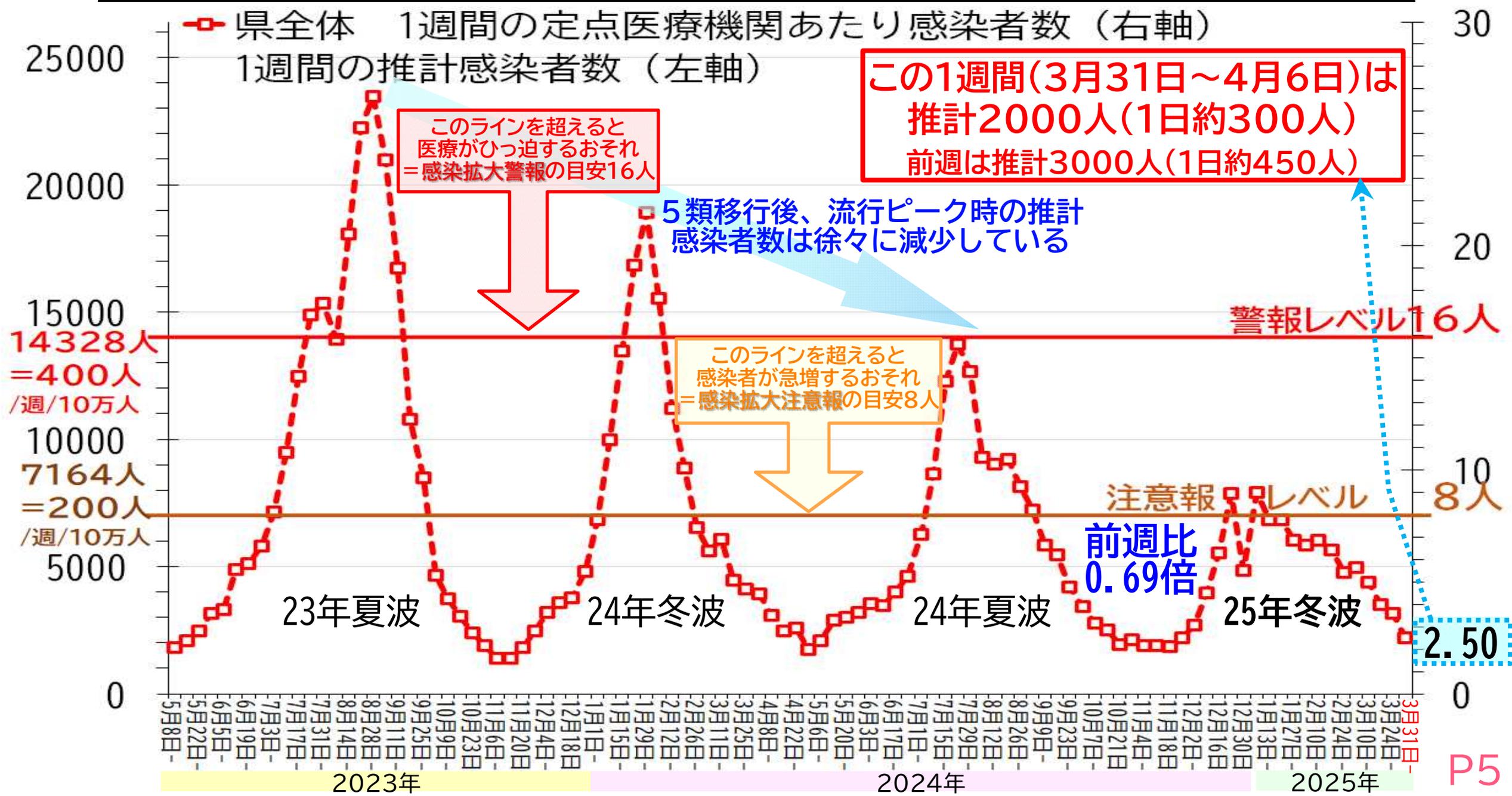
Cumulative measles cases by age and vaccinated status, week 1-13, 2025 (as of April 2, 2025)

■ None ■ MCV1 ■ MCV2 ■ Unknown

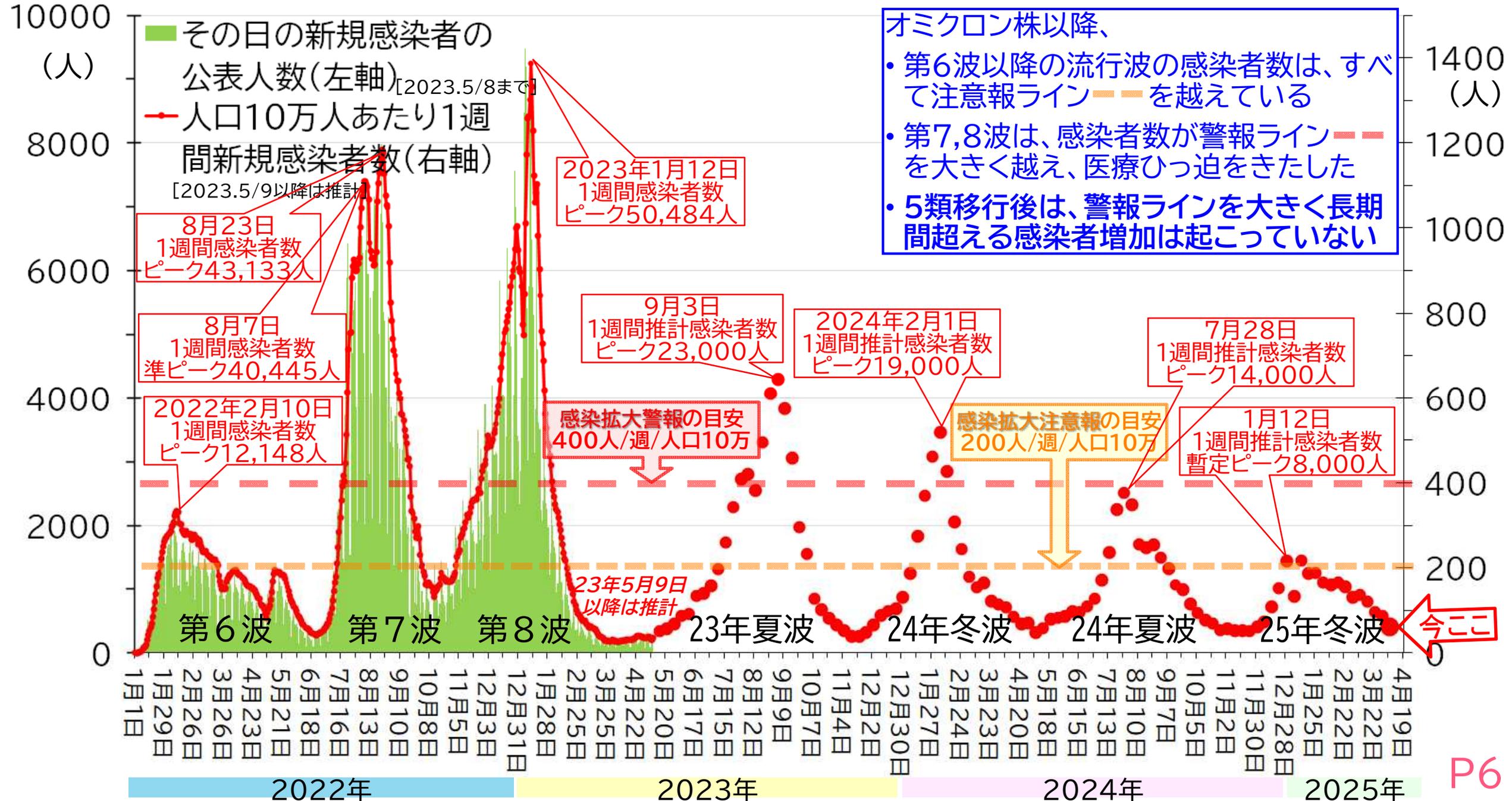


- **1歳の誕生日がきたら、麻疹・風疹混合(MR)ワクチンをすぐにうつ！**
- 40歳代以下の方は、**母子手帳で、自分の麻疹ワクチン接種回数を確認し、0回・1回の方は接種(自費)の検討を！**
 - ※特に、**首都圏・近畿によく行く人**
海外、特にベトナムに行く人
外国から来た人とよく接する人

静岡県 新型コロナ 1週間感染者数(2023.5/8~2025.4/6)



静岡県 新型コロナ オミクロン株以降の感染者数の推移 (2022.1/1~2025.4/6)

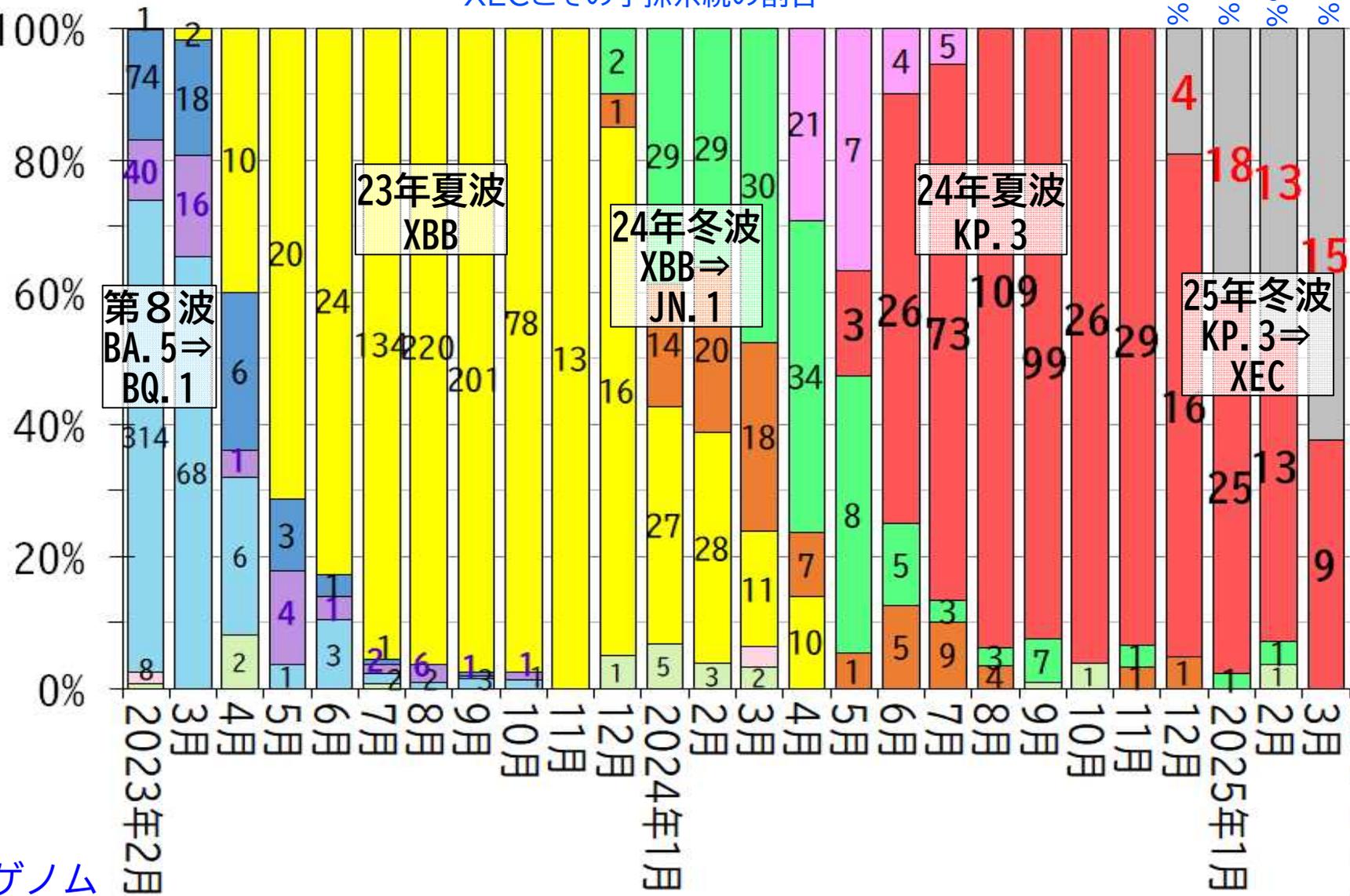


静岡県 新型コロナ オミクロン株の系統 月別状況 (2023.2月~2025.3月)

〔政令市を含む県全体〕

KP.3とその子孫系統の割合 16% 65% 81% 94% 93% 96% 94% 76% 57% 46% 37%

XECとその子孫系統の割合 19% 41% 46% 63%

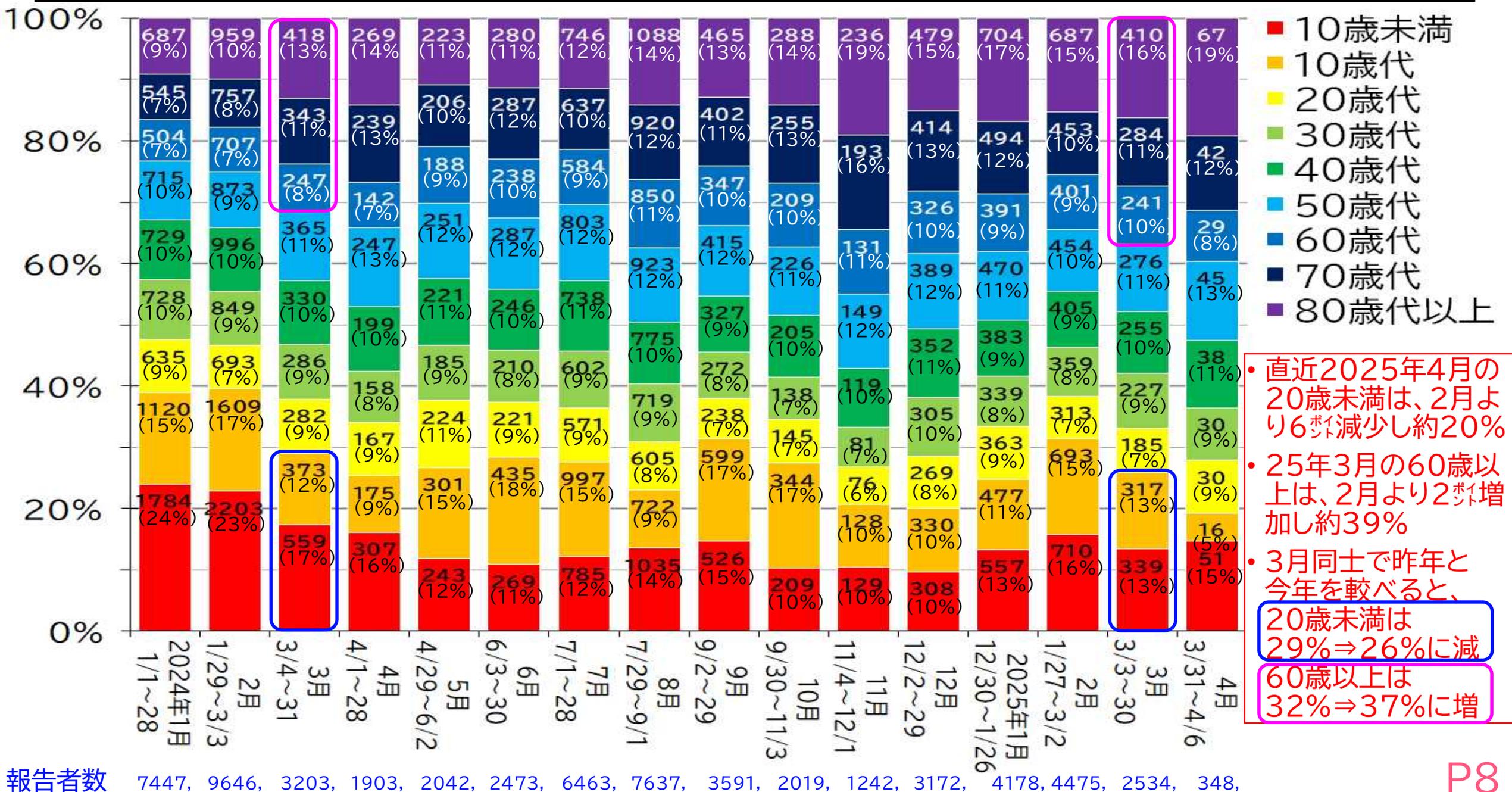


- 国立感染症研究所が、中和抗体からの逃避や感染者数増加の優位性が示唆されなどで、動向を注視する必要があるとしたオミクロン株の系統等の検出状況を示す
- 直近(2025.2/24~3/23)では県全体で、**BA.2.86系統が9検体(37%)**検出されたが、そのすべては**KP.3系統**で、残りは**XEC系統が15検体(63%)**で、今回初めてXEC系統がKP.3系統を上回った
- 検体採取は結果判明の約2週間前

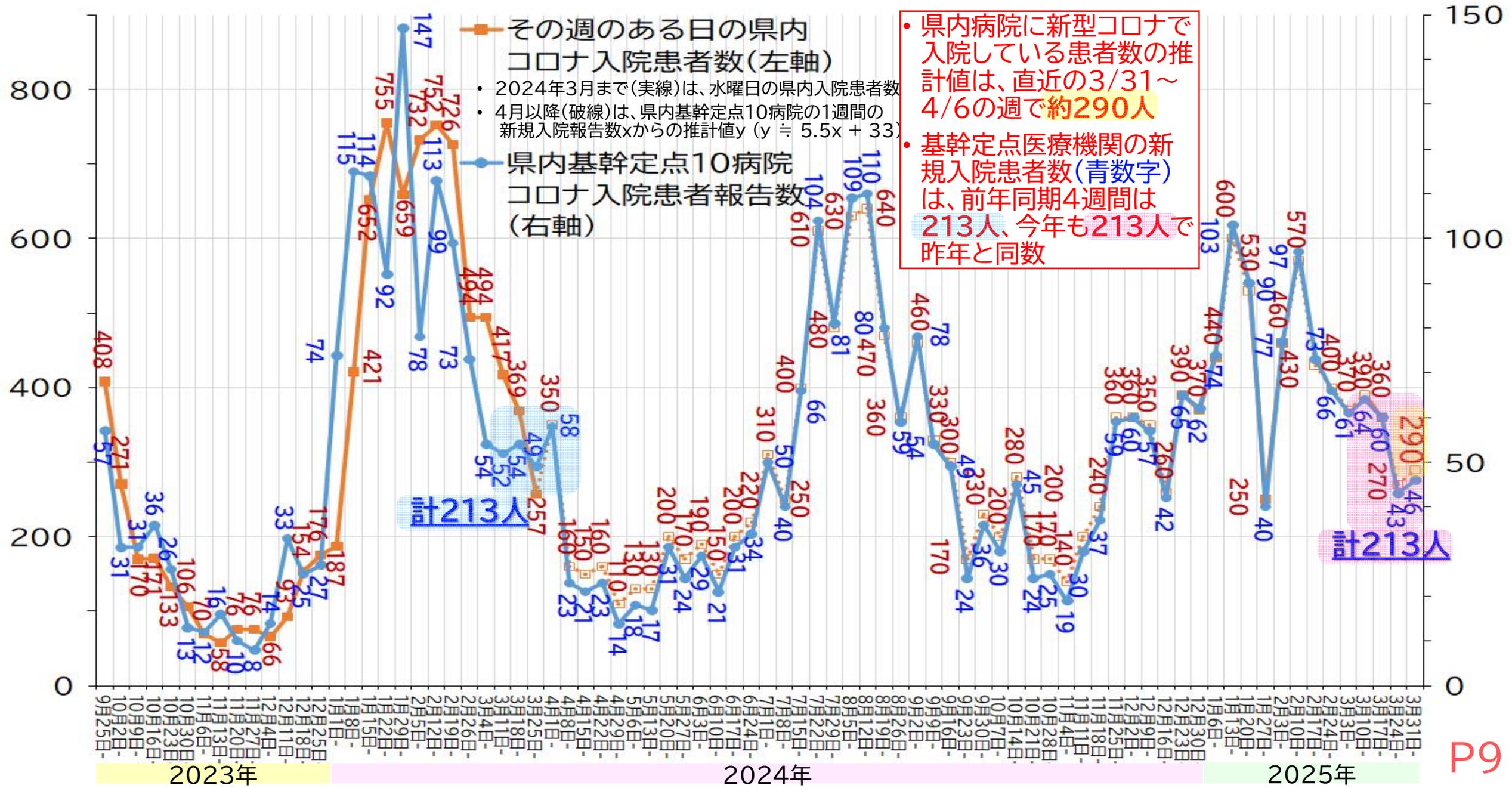
- XECとその子孫系統
- XDQ.1とその子孫系統
- KP.3とその子孫系統
- JN.1とその子孫系統
- JN.1, KP.3以外のBA.2.86系統
- XBB系統
- BQ.1系統
- BS.1系統
- BA.2.75系統
- その他のBA.5
- その他のBA.2
- その他の組替体

ゲノム解析数 635, 440, 104, 25, 28, 29, 140, 228, 206, 80, 13, 20, 75, 80, 63, 72, 19, 40, 90, 116, 107, 27, 31, 21, 44, 28, 24

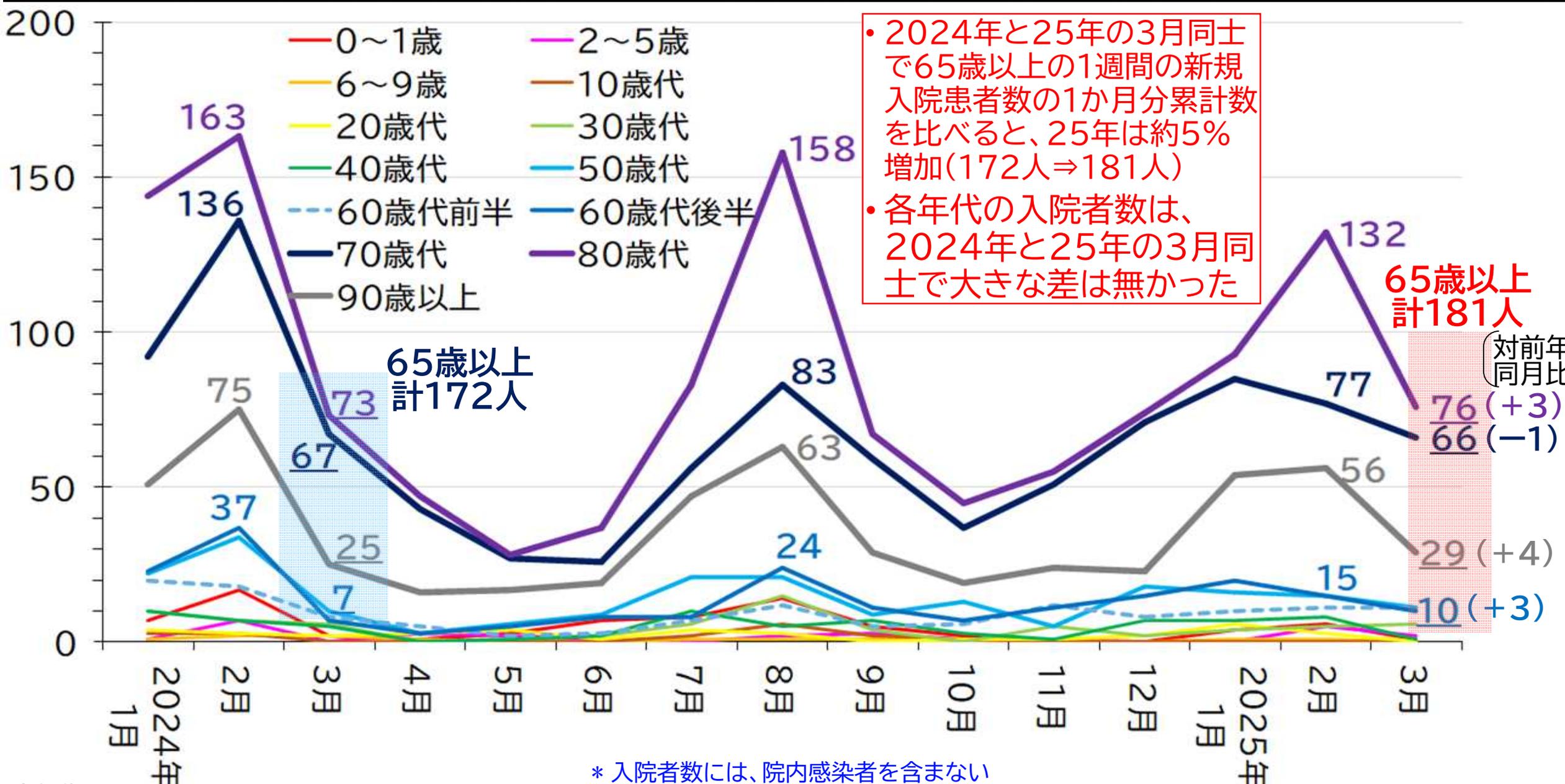
静岡県 新型コロナ 定点医療機関からの報告者数の年代別推移(2024.1/1~2025.4/6)



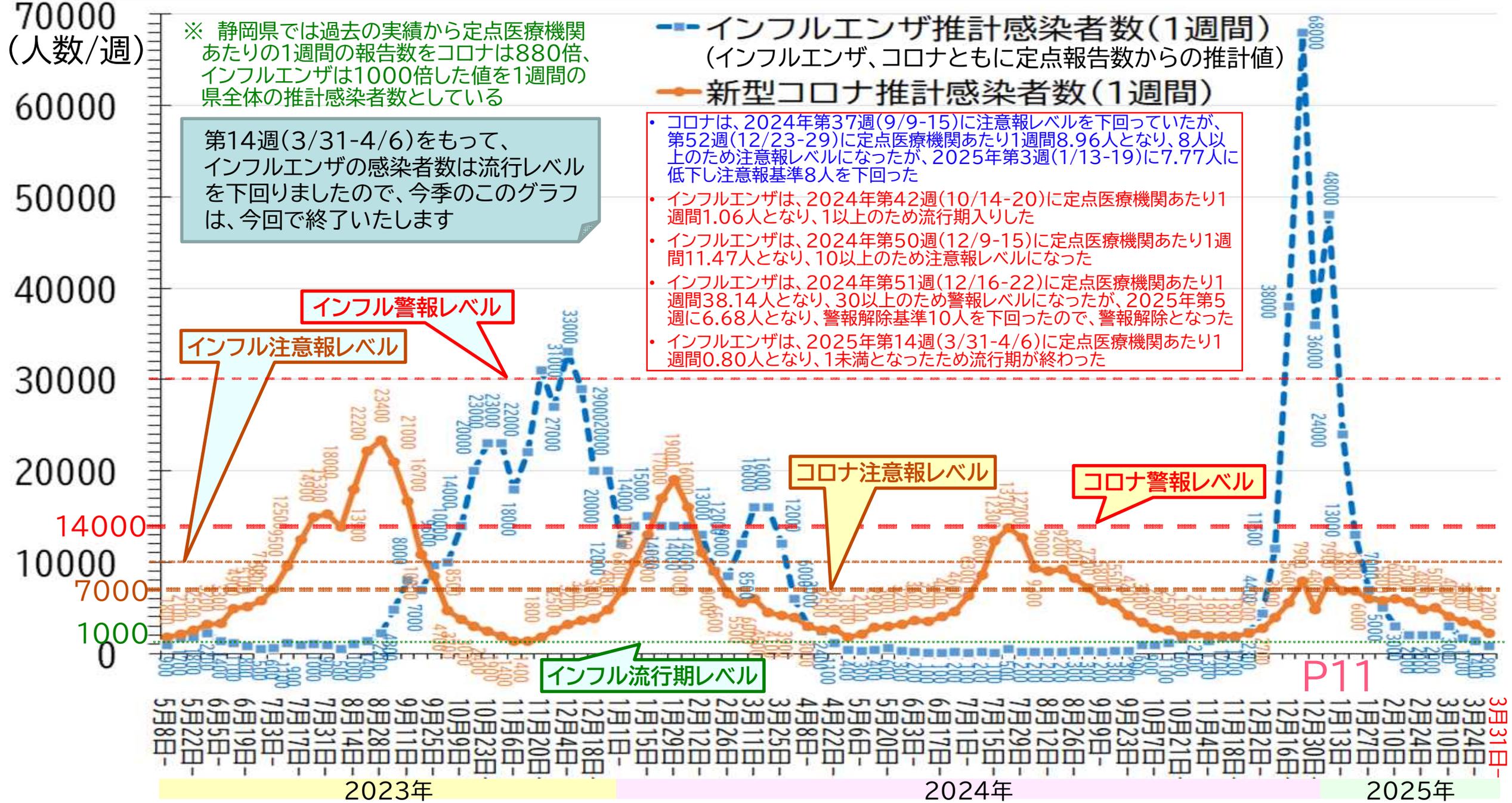
静岡県 新型コロナ入院患者数 おおまかな推計値 (2024.4/1~2025.4/6)



静岡県 基幹定点医療機関(10病院)のコロナ年代別新規入院患者数の推移 (2024.1月~2025.3月)



静岡県 新型コロナとインフルエンザの流行の状況 (2023.5/8~2025.4/6)



※ 静岡県では過去の実績から定点医療機関あたりの1週間の報告数をコロナは880倍、インフルエンザは1000倍した値を1週間の県全体の推計感染者数としている

第14週(3/31-4/6)をもって、インフルエンザの感染者数は流行レベルを下回りましたので、今季のこのグラフは、今回で終了いたします

インフルエンザ推計感染者数(1週間)
(インフルエンザ、コロナともに定点報告数からの推計値)

新型コロナ推計感染者数(1週間)

- コロナは、2024年第37週(9/9-15)に注意報レベルを下回っていたが、第52週(12/23-29)に定点医療機関あたり1週間8.96人となり、8人以上のため注意報レベルになったが、2025年第3週(1/13-19)に7.77人に低下し注意報基準8人を下回った
- インフルエンザは、2024年第42週(10/14-20)に定点医療機関あたり1週間1.06人となり、1以上のため流行期入りした
- インフルエンザは、2024年第50週(12/9-15)に定点医療機関あたり1週間11.47人となり、10以上のため注意報レベルになった
- インフルエンザは、2024年第51週(12/16-22)に定点医療機関あたり1週間38.14人となり、30以上のため警報レベルになったが、2025年第5週に6.68人となり、警報解除基準10人を下回ったので、警報解除となった
- インフルエンザは、2025年第14週(3/31-4/6)に定点医療機関あたり1週間0.80人となり、1未満となったため流行期が終わった

インフル注意報レベル

インフル警報レベル

コロナ注意報レベル

コロナ警報レベル

インフル流行期レベル

P11

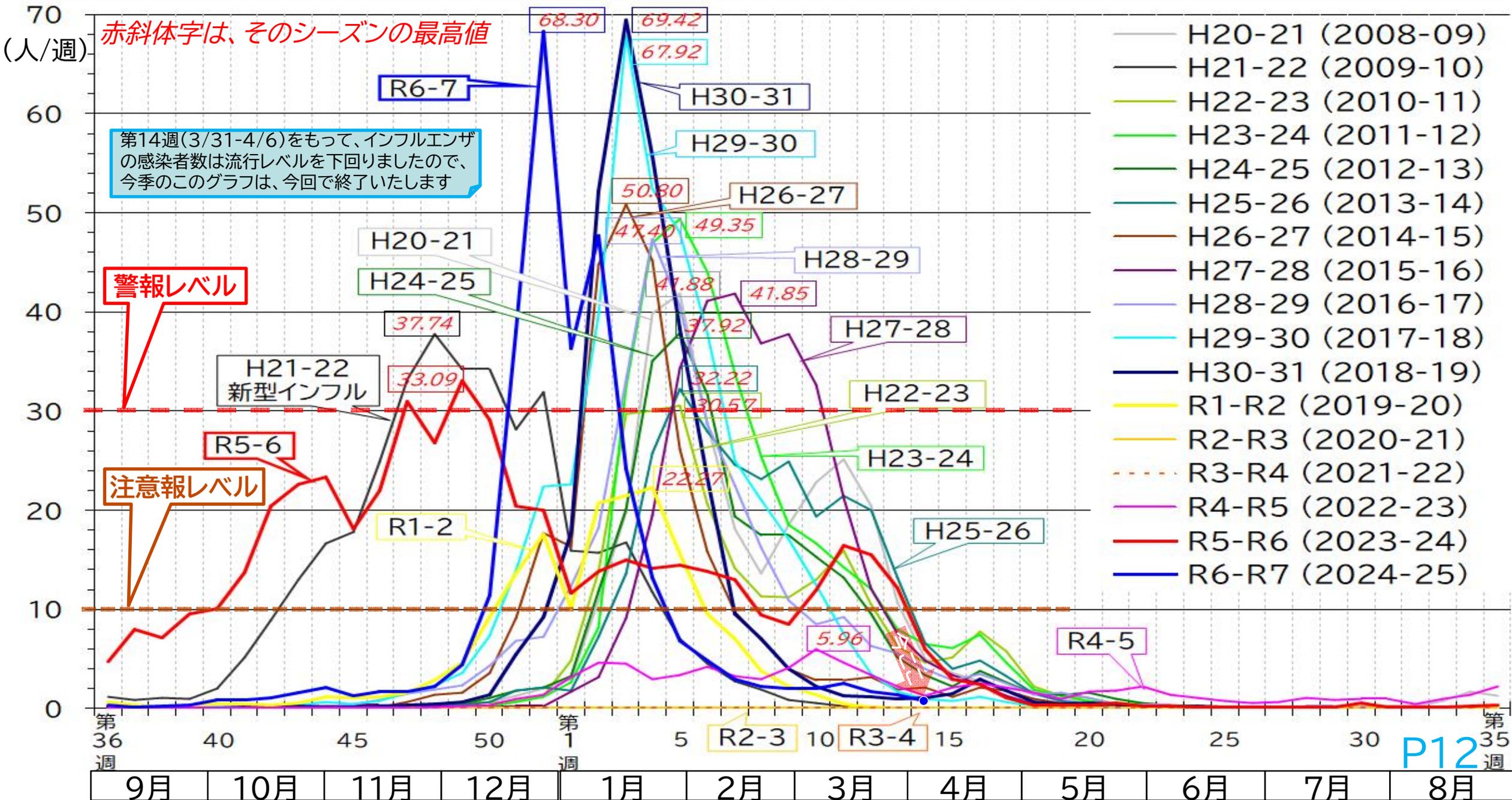
2023年

2024年

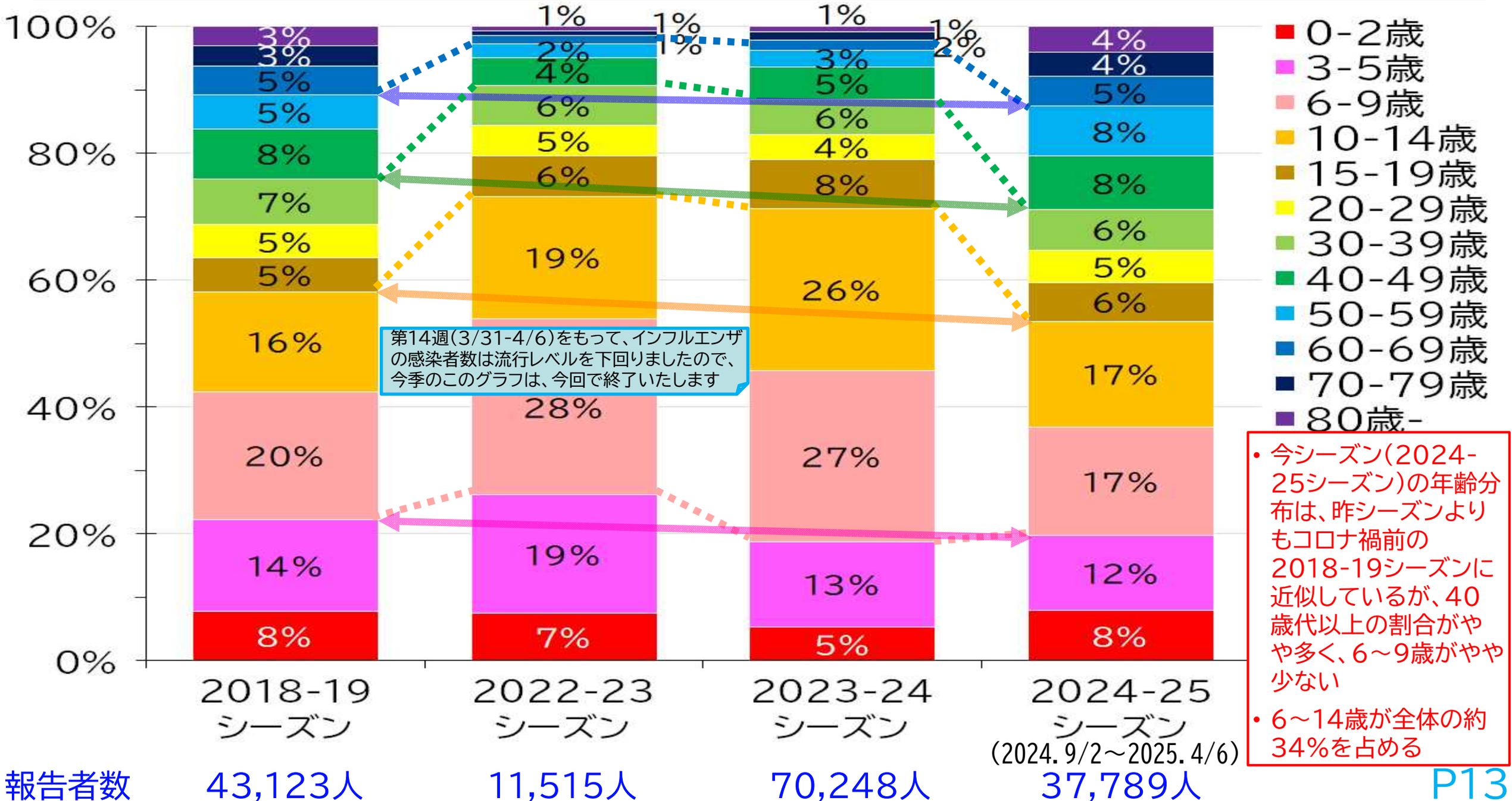
2025年

3月31日

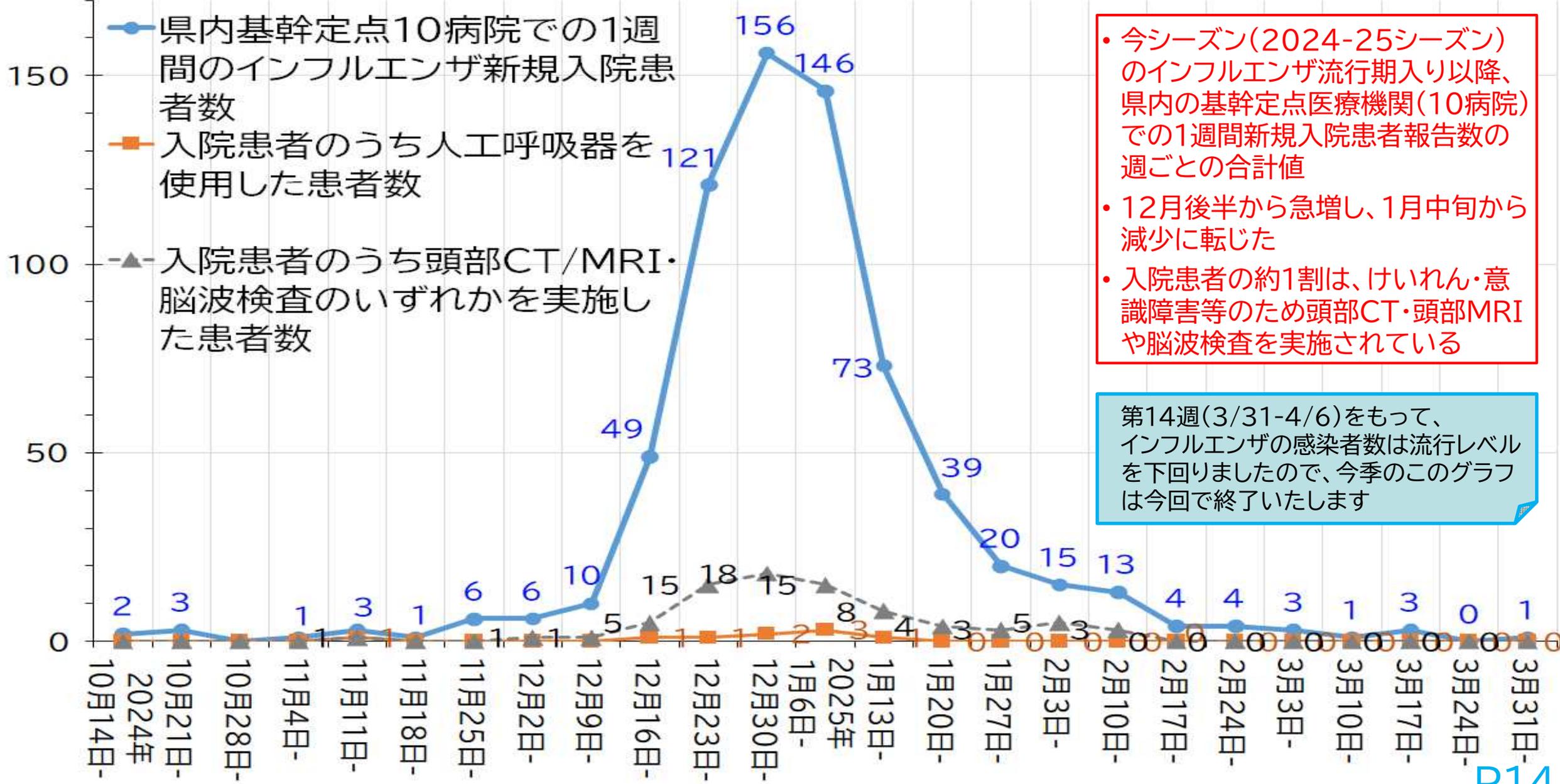
静岡県 インフルエンザ 定点医療機関からの報告数 今季と過去16季の比較



静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 年齢別割合(コロナ後3季とコロナ前2018-19季の比較)



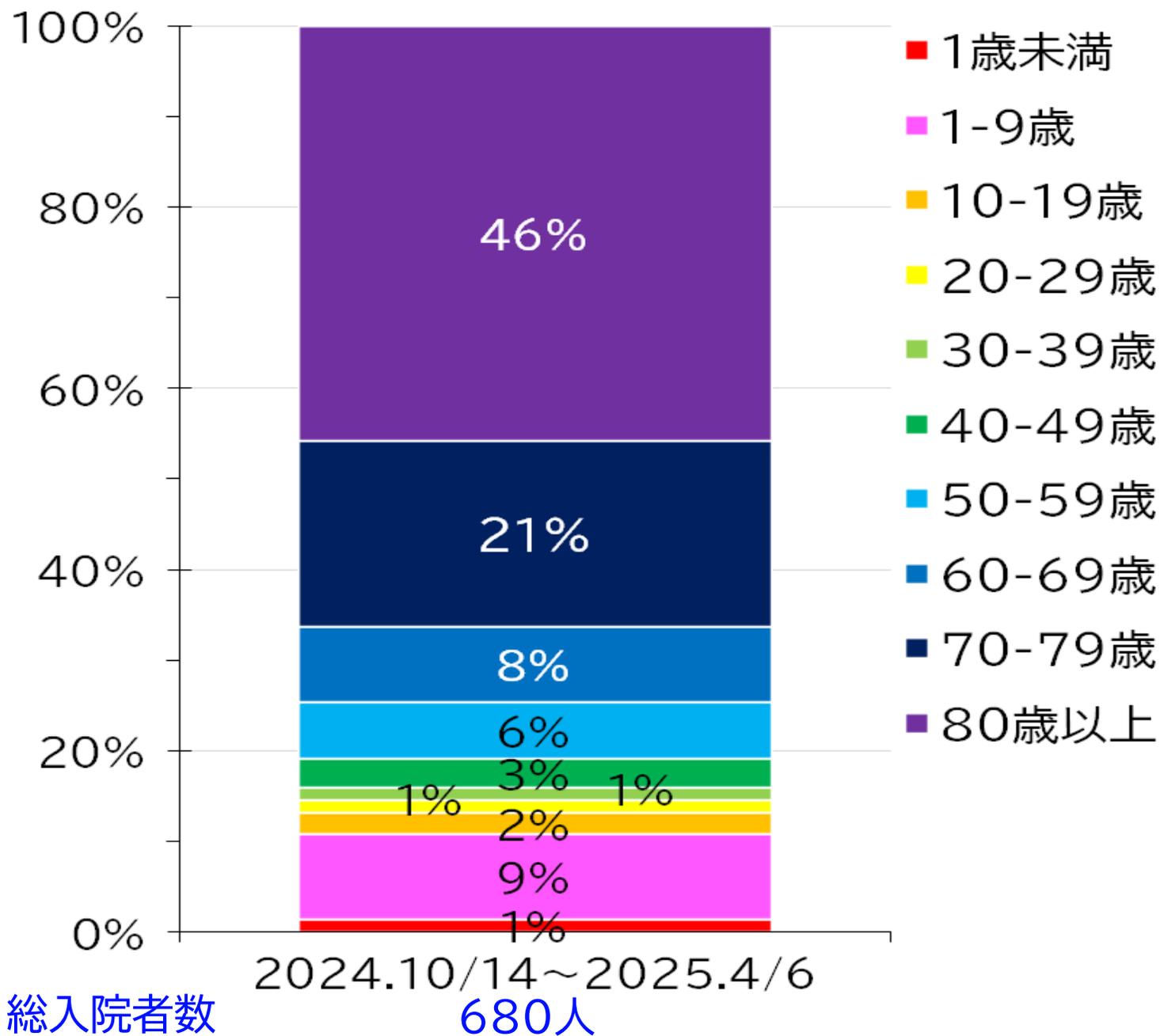
静岡県 インフルエンザ 基幹定点病院での新規入院患者数の推移 (2024.10/14~2025.4/6)



- 今シーズン(2024-25シーズン)のインフルエンザ流行期入り以降、県内の基幹定点医療機関(10病院)での1週間新規入院患者報告数の週ごとの合計値
- 12月後半から急増し、1月中旬から減少に転じた
- 入院患者の約1割は、けいれん・意識障害等のため頭部CT・頭部MRIや脳波検査を実施されている

第14週(3/31-4/6)をもって、インフルエンザの感染者数は流行レベルを下回りましたので、今季のこのグラフは今回で終了いたします

静岡県 インフルエンザ 基幹定点病院での新規入院患者年齢分布 (2024.10/14~2025.4/6)



- 今シーズン(2024-25シーズン)のインフルエンザ流行期入り以降における、県内の基幹定点医療機関(10病院)での1週間新規入院患者を累計した集団の年齢分布
- 80歳以上が全体の半数弱(46%)を占め、60歳以上が全体の約4分の3(75%)を占める
- 子どもの年代では1~9歳が多く、全体の1割に近い(9%)

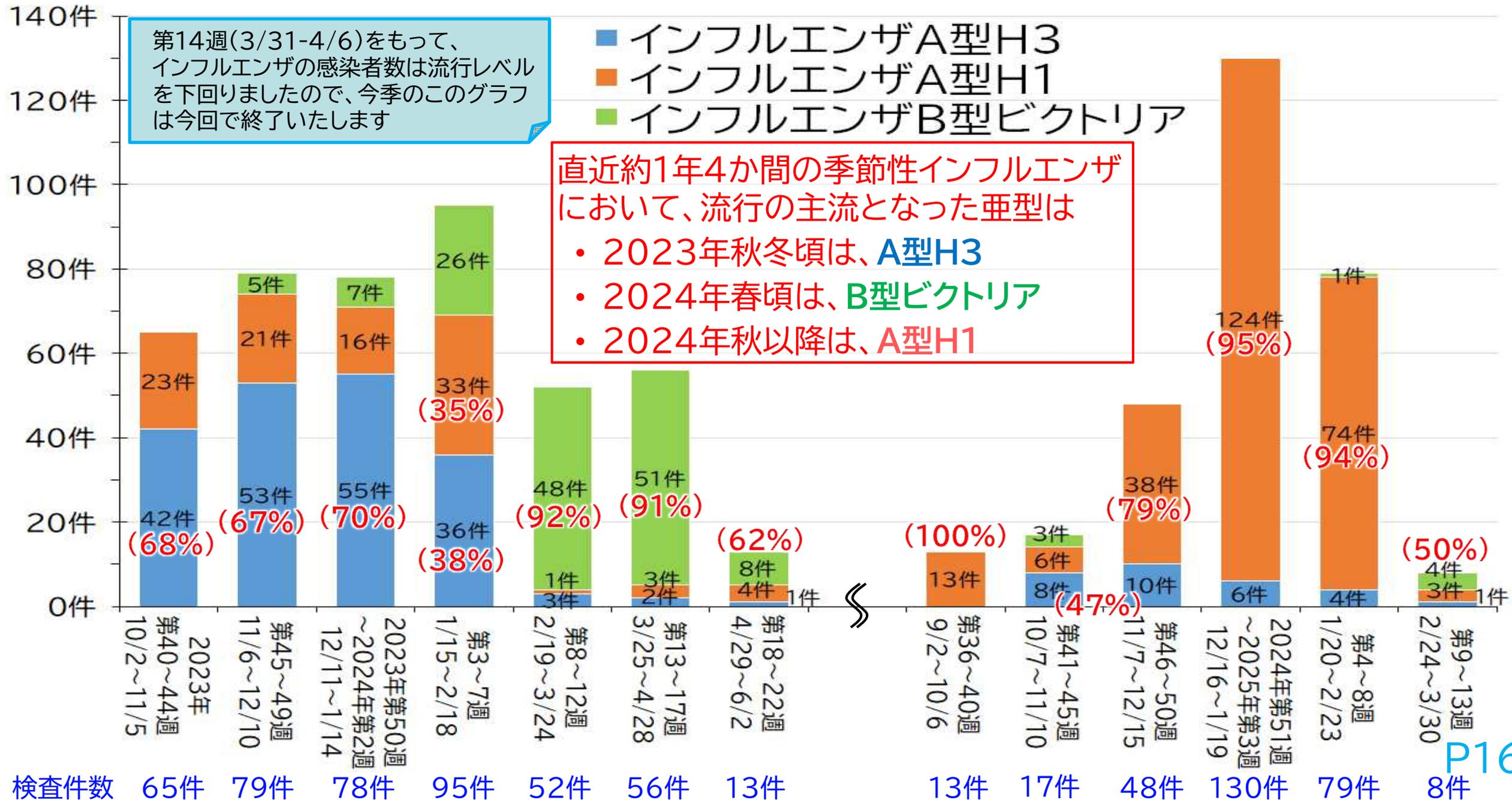
第14週(3/31-4/6)をもって、インフルエンザの感染者数は流行レベルを下回りましたので、今季のこのグラフは、今回で終了いたします

静岡県内衛生研究所(県, 静岡市, 浜松市) インフルエンザウイルス型別検出の推移 (2023.10/2~2025.3/30)

第14週(3/31-4/6)をもって、
インフルエンザの感染者数は流行レベル
を下回りましたので、今季のこのグラフ
は今回で終了いたします

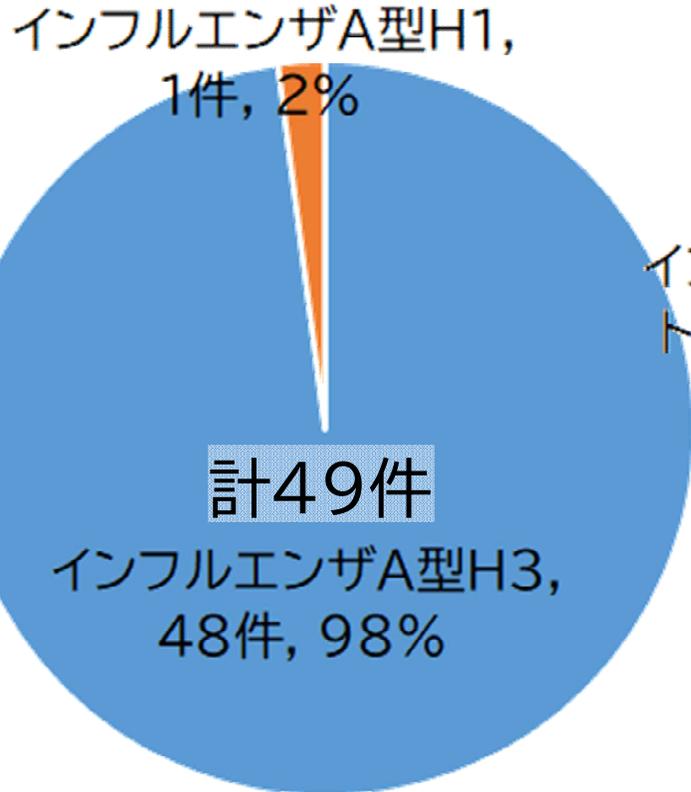
直近約1年4か間の季節性インフルエンザ
において、流行の主流となった亜型は

- 2023年秋冬頃は、**A型H3**
- 2024年春頃は、**B型ビクトリア**
- 2024年秋以降は、**A型H1**



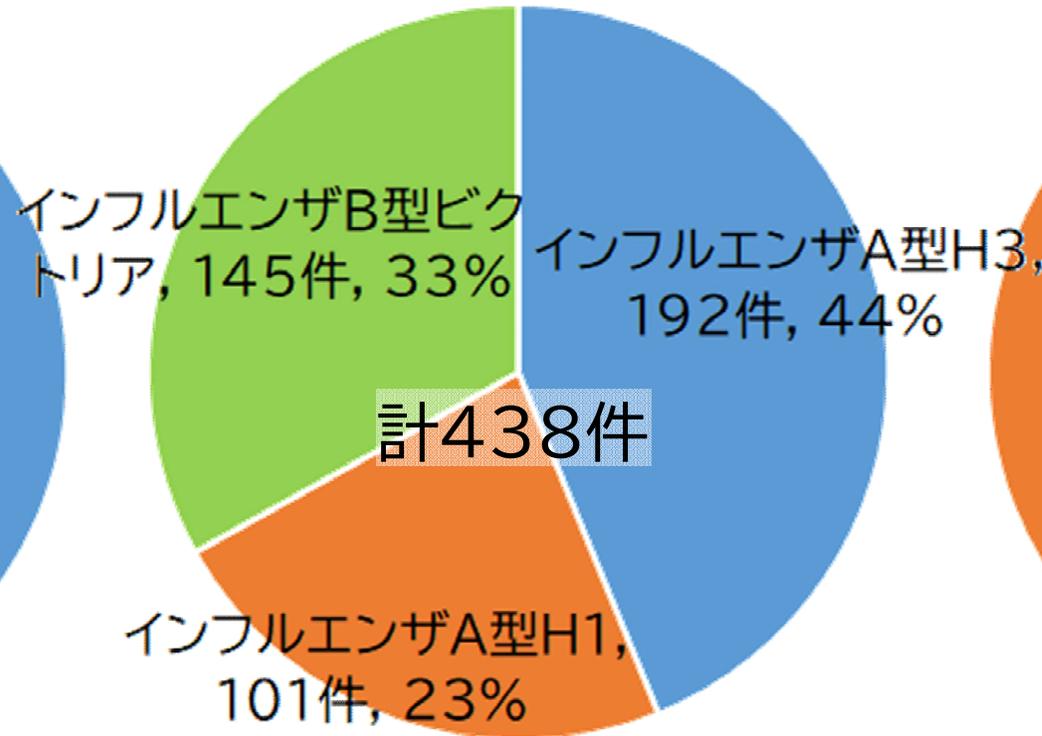
2022-23シーズン

2023年 第1~25週
(2023.1/2~6/25)



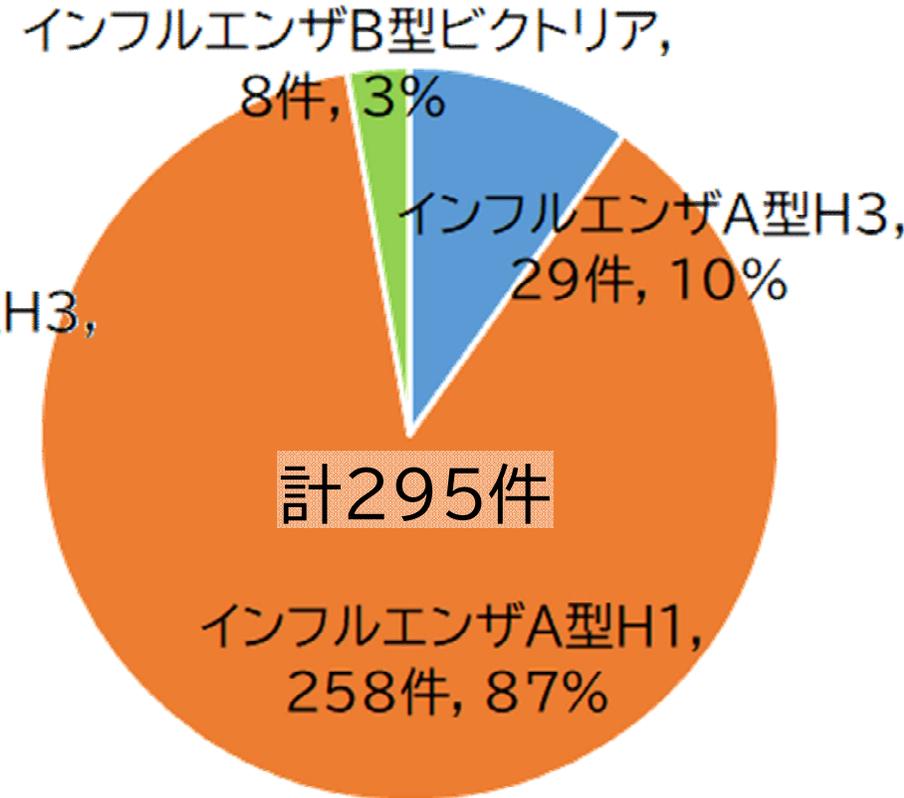
2023-24シーズン

2023年 第40~52週,
2024年 第1~22週
(2023.10/2~2024.6/2)



2024-25シーズン

2024年 第36~52週,
2025年 第1~14週
(2024.9/2~2025.4/6)



• 2024年秋からの季節性インフルエンザは、インフルエンザA型H1が主体で流行が始まり、約90%を占めている

第14週(3/31-4/6)をもって、インフルエンザの感染者数は流行レベルを下回りましたので、今季のこのグラフは、今回で終了いたします



静岡県独自の新型コロナ注意報・警報

感染拡大警報

(2023夏の波)8/4~17, 8/25~9/28

(2024冬の波)2/2~21

(2024夏の波)(2025冬の波)警報なし

感染拡大注意報



(2023夏の波)7/14~8/3, 8/18~24, 9/29~10/12

(2024冬の波)1/19~2/1, 2/22~3/7

(2024夏の波)7/19~9/19

(2025冬の波)1/9~1/23

感染症発生動向調査における特記事項欄コメント

第 14 週 令和7年3月31日 ~ 令和7年4月6日

今週の特記事項欄コメントの報告数上位

1	新型コロナウイルス感染症	42名
2	インフルエンザB型	22名
3	インフルエンザA型	20名

保健所	医療機関名	感染症名	報告数	備考
熱海	高野医院	新型コロナウイルス感染症	11	
熱海	むらかみ小児科クリニック	ヒトメタニューモ	1	1歳女児2名
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	インフルエンザB型	7	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	新型コロナウイルス感染症	6	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	ノロウイルス	4	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	咽頭アデノ	2	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	ヒトメタニューモ	3	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	腸管アデノ	1	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	ヘルペス性歯肉口内炎	1	
東部	よぎ小児科医院	伝染性紅斑	2	
東部	よぎ小児科医院	インフルエンザB型	1	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	RSウイルス感染症	1	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	インフルエンザA型	2	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	インフルエンザB型	2	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	新型コロナウイルス感染症	2	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	ノロウイルス	1	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	溶連菌感染症	4	
御殿場	公益社団法人有隣厚生会 富士病院	インフルエンザA型	1	
御殿場	公益社団法人有隣厚生会 富士病院	インフルエンザB型	2	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	インフルエンザA型	4	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	インフルエンザB型	3	
御殿場	安田内科小児科医院	インフルエンザA型	2	
御殿場	安田内科小児科医院	インフルエンザB型	2	
御殿場	安田内科小児科医院	新型コロナウイルス感染症	10	
御殿場	安田内科小児科医院	ノロウイルス	1	
御殿場	お八幡医院	インフルエンザA型	6	
富士	医療法人社団富岳会 小川小児科内科医院	インフルエンザB型	1	
富士	医療法人社団富岳会 小川小児科内科医院	新型コロナウイルス感染症	13	
静岡市	こどもクリニックみなと	マイコプラズマ肺炎	1	13歳女
静岡市	原小児科医院	インフルエンザA型	2	
静岡市	かどたこどもクリニック	ヒトメタニューモ	1	5歳女
西部	きもと小児科	インフルエンザA型	1	
西部	きもと小児科	インフルエンザB型	1	
浜松市	クリニック・パパ	ヒトメタニューモ	6	
浜松市	クリニック・パパ	咽頭アデノ	4	
浜松市	クリニック・パパ	インフルエンザB型	1	
浜松市	幸田子供クリニック	インフルエンザB型	1	
浜松市	天竜こども医院	インフルエンザA型	1	
浜松市	縣医院	インフルエンザA型	1	
浜松市	縣医院	インフルエンザB型	1	

◆全数届出の感染症

- 1類感染症 報告なし
- 2類感染症 結核(東部(1)、富士(2)、浜松市(2))
- 3類感染症 報告なし
- 4類感染症 日本紅斑熱(熱海(1))レジオネラ症(中部(1)、浜松市(1))
- 5類感染症 カルバペナム耐性腸内細菌目細菌感染症(浜松市(1))
 侵襲性肺炎球菌感染症(熱海(1)、中部(1))
 梅毒(中部(1)、西部(2)、浜松市(1))
 百日咳(静岡市(4)、中部(1))

2 保健所別の警報状況

警報 なし
 注意報 なし

警報・注意報・流行期入りの目安(新型コロナウイルス感染症以外)

区分	説明
警報レベル	大きな流行が発生または継続しつつあると疑われる
注意報レベル	流行の発生前:今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い 流行の発生後:流行が継続していると疑われる
流行入りの目安 (インフルエンザのみ)	定点医療機関あたり患者数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられる

※1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-
感染性胃腸炎	20.0	12.0	-
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	-
伝染性紅斑	2.0	1.0	-
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

警報・注意報の目安(新型コロナウイルス感染症)

新型コロナウイルス感染症の警報・注意報の基準値は、静岡県が独自に設定しています。注意報レベルは、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を保健所ごとに設定し、感染者が急増するおそれがある状況を指します。警報レベルは、人口10万人当たり400人以上となった水準を設定し、感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況を指します。国が基準値を設定するまでの間、暫定的にこの基準値に基づき注意喚起します。

保健所名	注意報基準値	警報基準値
賀茂	13.0	26.0
熱海	9.0	18.0
東部	8.0	16.0
御殿場	17.0	34.0
富士	11.0	22.0
県東部地域	10.0	20.0
静岡市	6.0	12.0
中部	8.0	16.0
県中部地域	7.0	14.0
西部	10.0	20.0
浜松市	7.0	14.0
県西部地域	8.0	16.0
県全体	8.0	16.0

第14週

	静岡県							全国				
	第9週	第10週	第11週	第12週	第13週	今週	年累計	第11週	第12週	第13週	今週	年累計
エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クリミア-コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性白血球炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結核	2	7	4	5	8	5	107	235	216	250	157	3328
ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザH5N1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザH7N9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	12
腸管出血性大腸菌感染症	0	1	0	0	1	0	5	22	23	21	7	328
腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	7
パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
E型肝炎	0	0	0	0	0	0	2	15	8	12	12	131
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	3	41
エキモкокス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
エムボックス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
糞熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オウム病	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3
オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
キャサスル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
腎臓急性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
テクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
つつが虫病	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	36
デング熱	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	40
東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニバウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本紅斑熱	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	3
日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペネズエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発しんチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レジオネラ症	1	0	0	1	0	2	19	35	30	24	27	439
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	4	8	6	7	2	117
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	1	3	3	2	5	59
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	0	0	0	1	3	33	25	29	24	491
急性弛緩性麻痺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)	0	0	0	0	0	0	12	3	3	10	6	195
クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6
クロイツフェルト-ヤコブ病	0	1	0	1	0	0	2	1	2	2	2	42
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	3	0	1	0	0	7	29	21	11	21	455
後天性免疫不全症候群	1	0	0	0	0	0	4	9	8	13	10	197
ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	7
慢性的インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	0	6	8	9	9	11	218
慢性的髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	20
慢性的肺炎球菌感染症	2	0	2	3	1	2	56	67	54	77	65	1329
水痘(入院例に限る)	0	0	0	0	0	0	3	9	6	4	7	133
先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
梅毒	1	2	6	2	7	4	81	181	153	161	195	3453
揮発性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	2	2	4	0	1	40
破傷風	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	21
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	0	1	1	0	0	3	2	2	5	0	26
百日咳	2	0	0	1	2	5	18	561	458	578	722	5652
風しん	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	5
麻疹	0	0	0	1	0	0	1	12	8	11	6	66
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
新型コロナウイルス等感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※次週以降に届出の追加や取り下げがあった場合、この表では、前週以前の届出数に反映されません。「今週」と「年累計」は、現時点での正しい届出数です。前週以前の届出数はその後、増減している可能性があります。

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムボックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変わりました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2025 第 14 週

		静岡県						全国					
		第9週	第10週	第11週	第12週	第13週	今週	計	第11週	第12週	第13週	今週	計
小児科	RSウイルス感染症	67	95	91	80	66	49	448	4,611	3,663	3,177	2,404	13,855
	咽頭結膜熱	39	17	14	25	20	16	131	883	802	721	750	3,156
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	74	97	105	62	62	72	472	7,273	6,098	5,885	5,148	24,404
	感染性胃腸炎	687	991	856	617	560	535	4,246	34,609	28,141	24,790	19,251	106,791
	水痘	4	5	5	7	2	11	34	844	995	926	815	3,580
	手足口病		2	3	1		1	7	147	133	148	115	543
	伝染性紅斑	29	24	48	50	83	77	311	2,516	2,074	2,565	1,889	9,044
	突発性発しん	12	15	20	14	18	15	94	670	545	656	648	2,519
	ヘルパンギーナ	1		1			2	4	37	20	26	27	110
	流行性耳下腺炎	2	2	1	1	4	5	15	121	101	115	102	439
	小 内	インフルエンザ	288	274	357	233	197	111	1,460	10,960	9,714	9,093	5,667
新型コロナウイルス感染症		755	786	693	553	502	348	3,637	18,927	15,872	14,354	10,132	59,285
眼科	急性出血性結膜炎					1		1	39	56	40	33	168
	流行性角結膜炎	3	8	10	6	13	10	50	625	579	558	537	2,299
基幹	細菌性髄膜炎	2	1	1		1		5	7	8	14	10	39
	無菌性髄膜炎					1		1	13	14	12	6	45
	マイコプラズマ肺炎	1		3	1	1	1	7	138	129	136	107	510
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								2	3	1	1	7
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								91	96	111	86	384

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症集計表(定点当り患者数)

2025 第 14 週

		静岡県					全国				
		第9週	第10週	第11週	第12週	第13週	今週	第11週	第12週	第13週	今週
小児科	RSウイルス感染症	0.75	1.07	1.02	0.90	0.74	0.55	1.48	1.18	1.02	0.80
	咽頭結膜熱	0.44	0.19	0.16	0.28	0.22	0.18	0.28	0.26	0.23	0.25
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.83	1.09	1.18	0.70	0.70	0.81	2.33	1.96	1.89	1.71
	感染性胃腸炎	7.72	11.13	9.62	6.93	6.29	6.01	11.10	9.04	7.95	6.41
	水痘	0.04	0.06	0.06	0.08	0.02	0.12	0.27	0.32	0.30	0.27
	手足口病		0.02	0.03	0.01		0.01	0.05	0.04	0.05	0.04
	伝染性紅斑	0.33	0.27	0.54	0.56	0.93	0.87	0.81	0.67	0.82	0.63
	突発性発しん	0.13	0.17	0.22	0.16	0.20	0.17	0.21	0.18	0.21	0.22
	ヘルパンギーナ	0.01		0.01			0.02	0.01	0.01	0.01	0.01
	流行性耳下腺炎	0.02	0.02	0.01	0.01	0.04	0.06	0.04	0.03	0.04	0.03
内科	インフルエンザ	2.07	1.97	2.57	1.68	1.42	0.80	2.23	1.98	1.85	1.20
	新型コロナウイルス感染症	5.43	5.65	4.99	3.98	3.61	2.50	3.85	3.23	2.92	2.14
眼科	急性出血性結膜炎					0.05		0.06	0.08	0.06	0.05
	流行性角結膜炎	0.14	0.36	0.45	0.29	0.59	0.45	0.89	0.83	0.80	0.77
基幹	細菌性髄膜炎	0.20	0.10	0.10		0.10		0.01	0.02	0.03	0.02
	無菌性髄膜炎					0.10		0.03	0.03	0.03	0.01
	マイコプラズマ肺炎	0.10		0.30	0.10	0.10	0.10	0.29	0.27	0.28	0.22
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0.00	0.01	0.00	0.00
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.19	0.20	0.23	0.18

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※定点当り患者数とは1週間の1医療機関当りの平均患者数です。(報告数÷定点医療機関数=定点当り患者数)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

第14週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	49	0.55	16	0.18	72	0.81	535	6.01	11	0.12
賀茂					2	1.00	3	1.50		
熱海					1	0.25	10	2.50		
東部	6	0.46	6	0.46	20	1.54	119	9.15	1	0.08
御殿場	4	1.00			7	1.75	36	9.00		
富士	2	0.22			8	0.89	17	1.89	1	0.11
静岡市	13	0.81	3	0.19	12	0.75	115	7.19	4	0.25
中部	4	0.36			6	0.55	46	4.18	2	0.18
西部	7	0.58	3	0.25	4	0.33	83	6.92	1	0.08
浜松市	13	0.72	4	0.22	12	0.67	106	5.89	2	0.11

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	1	0.01	77	0.87	15	0.17	2	0.02	5	0.06
賀茂										
熱海			2	0.50						
東部			19	1.46	5	0.38	1	0.08		
御殿場			4	1.00						
富士			4	0.44	2	0.22				
静岡市			19	1.19	1	0.06				
中部			9	0.82	1	0.09	1	0.09	1	0.09
西部	1	0.08	6	0.50	1	0.08			1	0.08
浜松市			14	0.78	5	0.28			3	0.17

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症				指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	注意報基準値	警報基準値	小児科	内科
総数	111	0.80	348	2.50	8.0	16.0	89	50
賀茂	4	1.33	15	5.00	13.0	26.0	2	1
熱海	2	0.33	39	6.50	9.0	18.0	4	2
東部	22	1.10	27	1.35	8.0	16.0	13	7
御殿場	23	3.83	33	5.50	17.0	34.0	4	2
富士	10	0.67	46	3.07	11.0	22.0	9	6
静岡市	10	0.40	46	1.84	6.0	12.0	16	9
中部	16	0.94	65	3.82	8.0	16.0	11	6
西部	14	0.74	38	2.00	10.0	20.0	12	7
浜松市	10	0.36	39	1.39	7.0	14.0	18	10

*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

第 14 週 定点把握感染症 保健所別状況

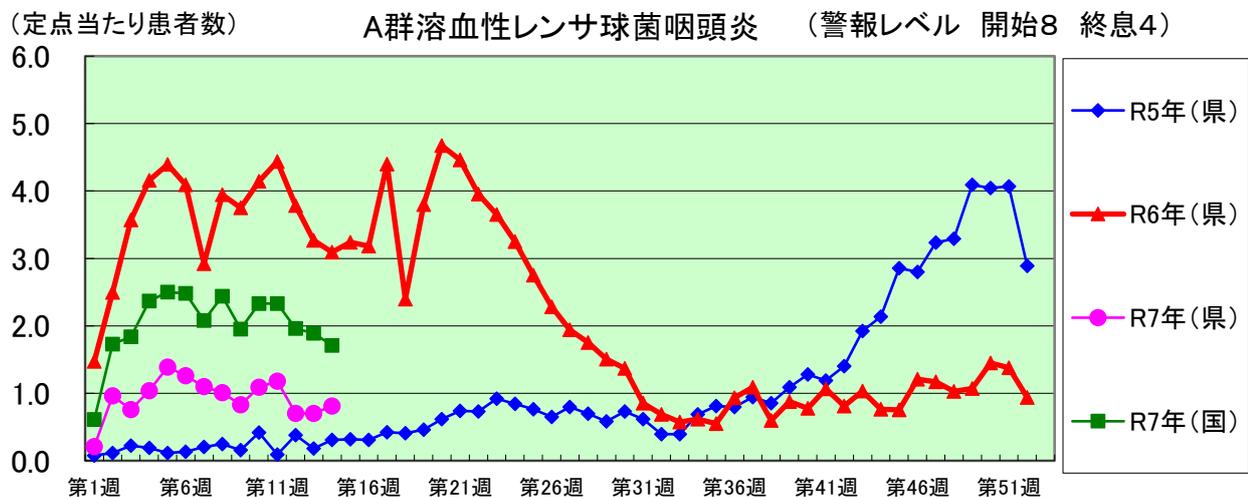
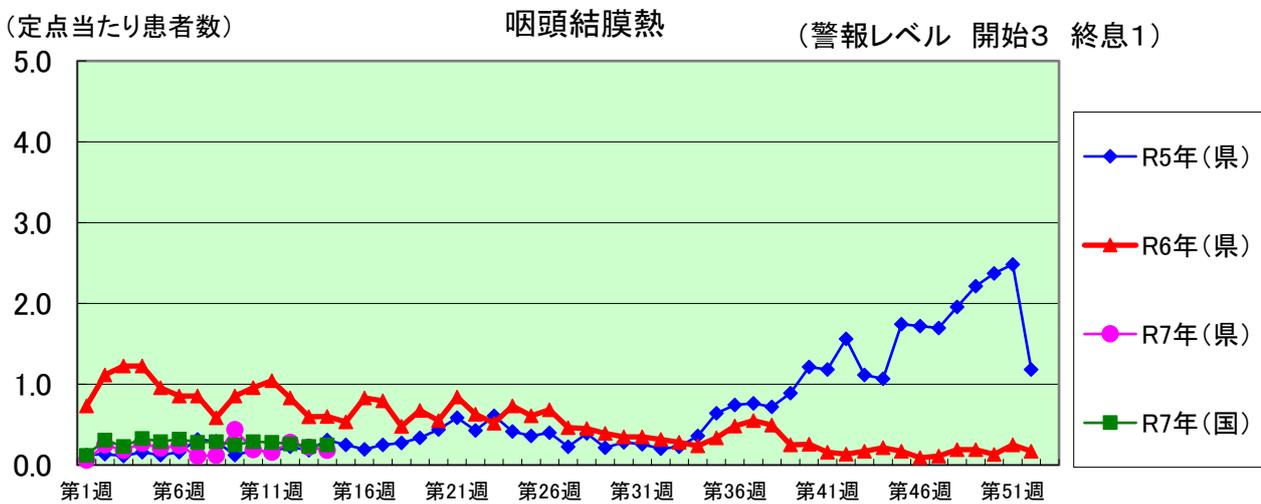
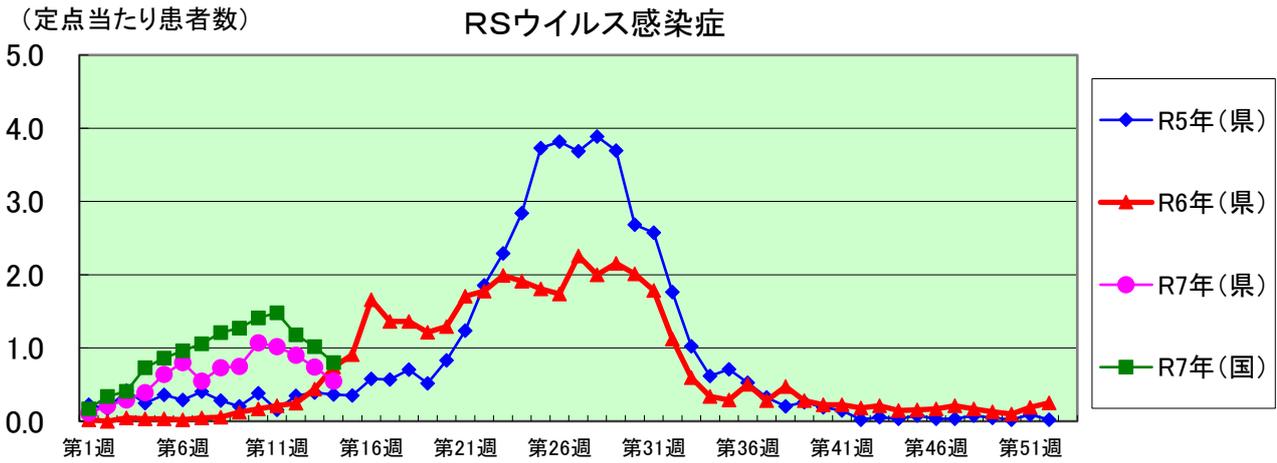
保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		10	0.45	0		0		1	0.10
賀茂										
熱海										
東部			1	0.25						
御殿場										
富士			2	0.67						
静岡市										
中部			1	0.33						
西部									1	1.00
浜松市			6	2.00						

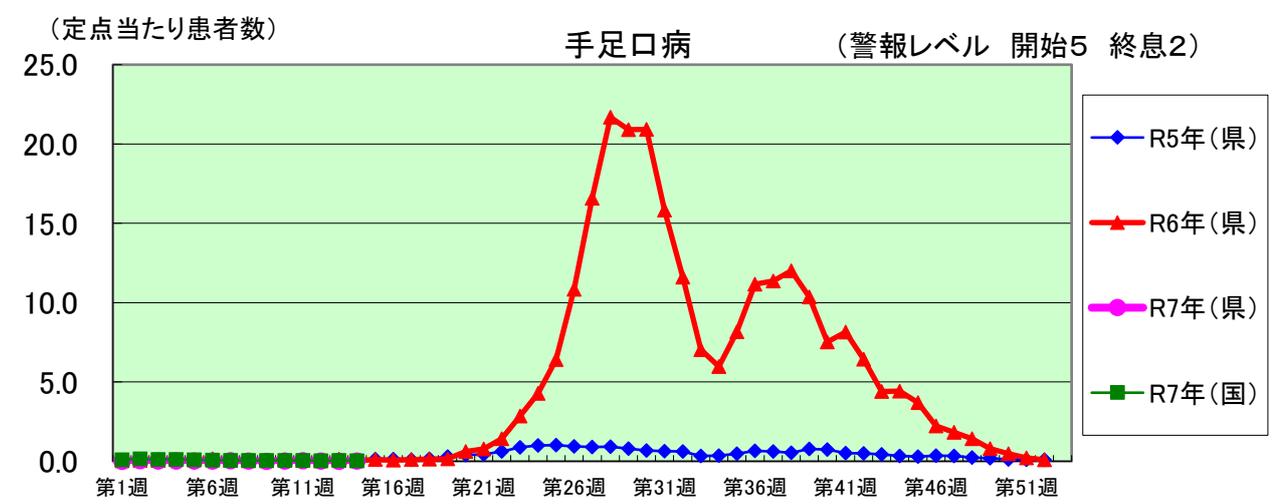
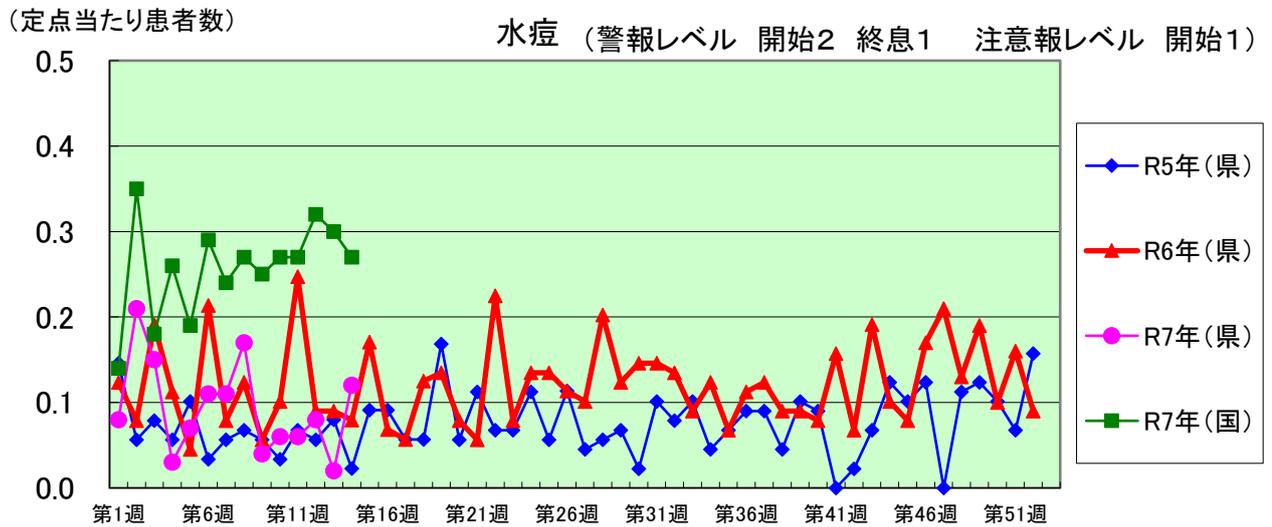
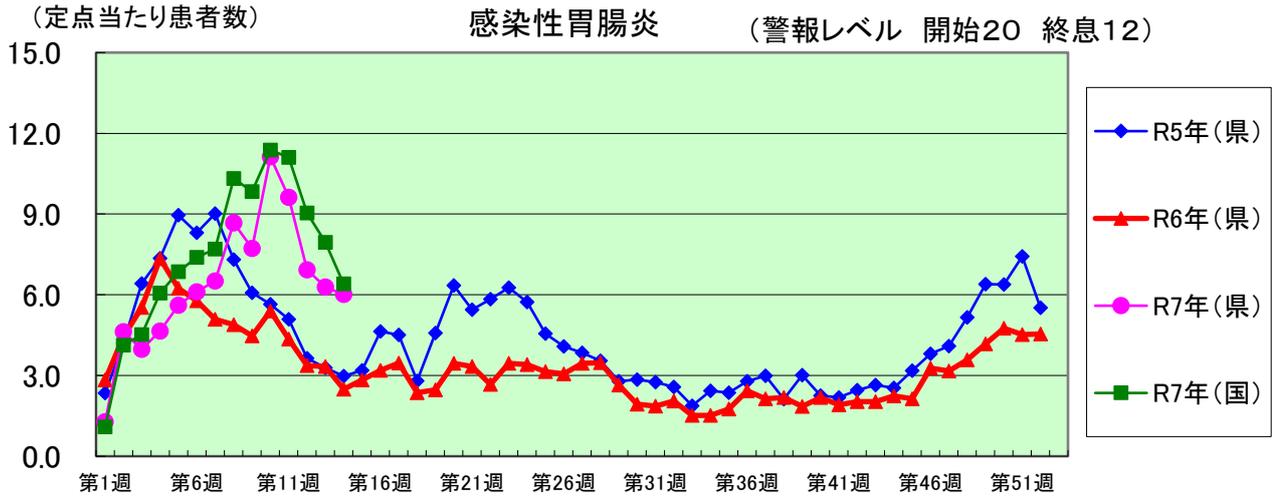
保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

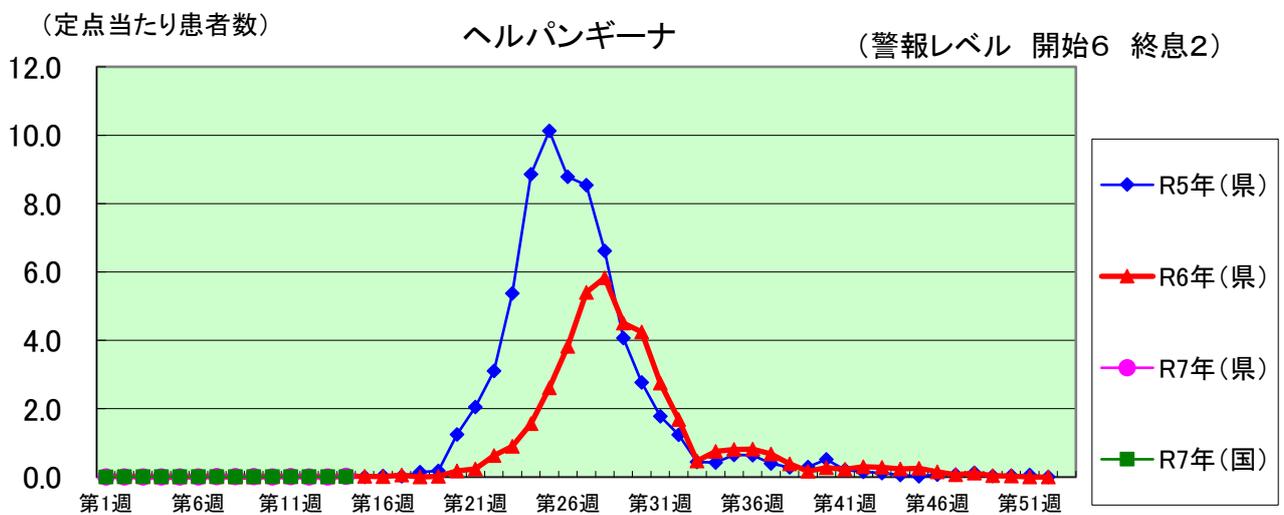
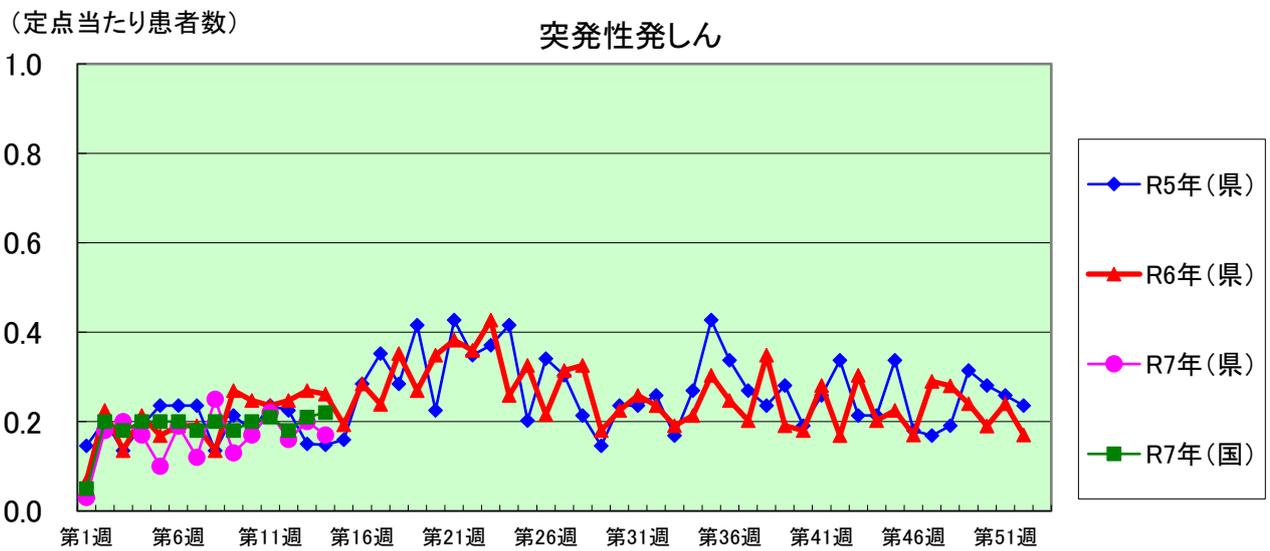
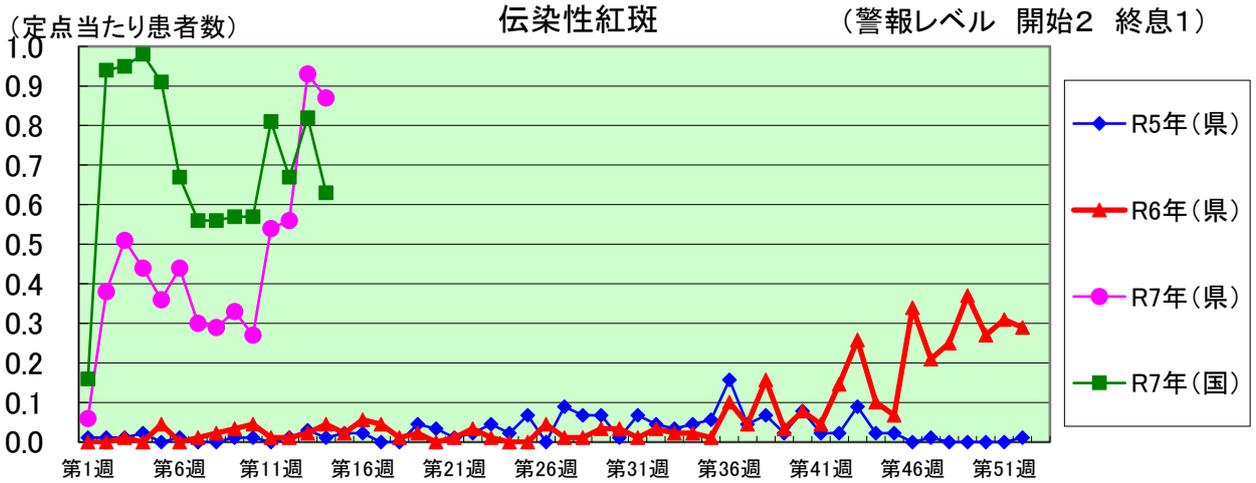
指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。



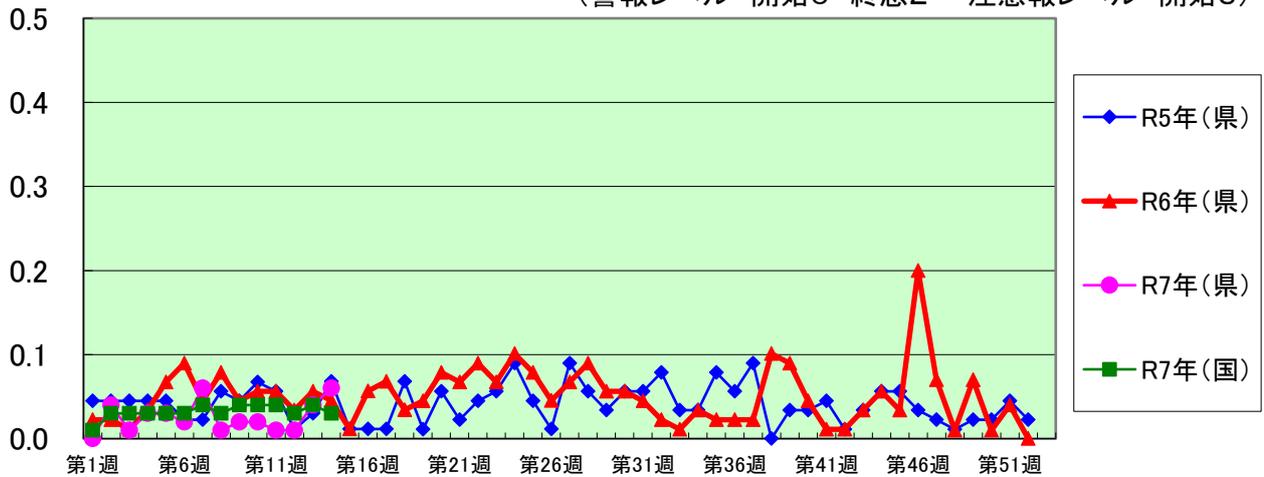




(定点当たり患者数)

流行性耳下腺炎

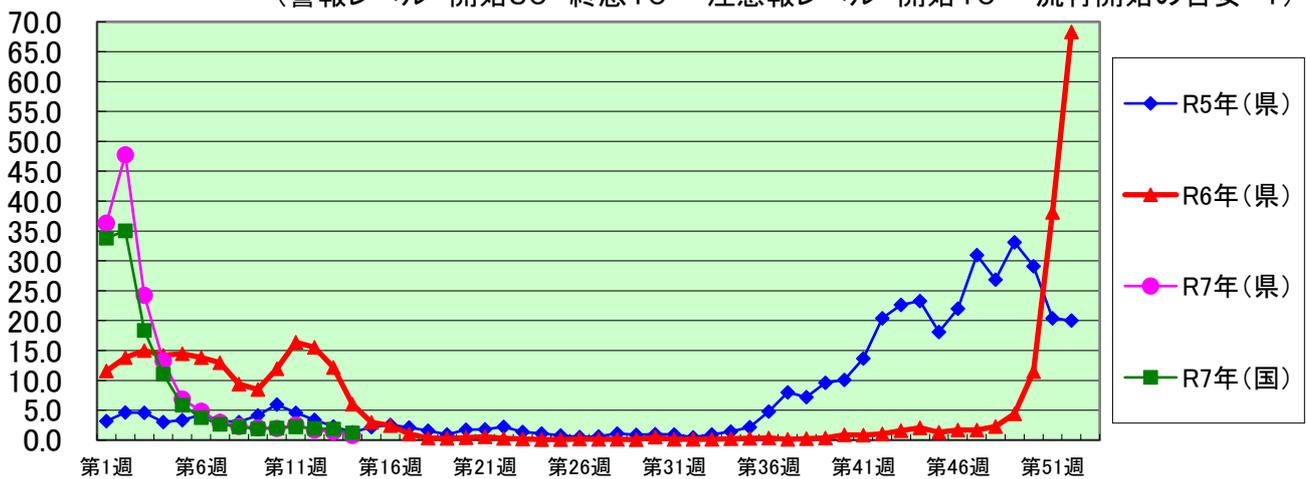
(警報レベル 開始6 終息2 注意報レベル 開始3)



(定点当たり患者数)

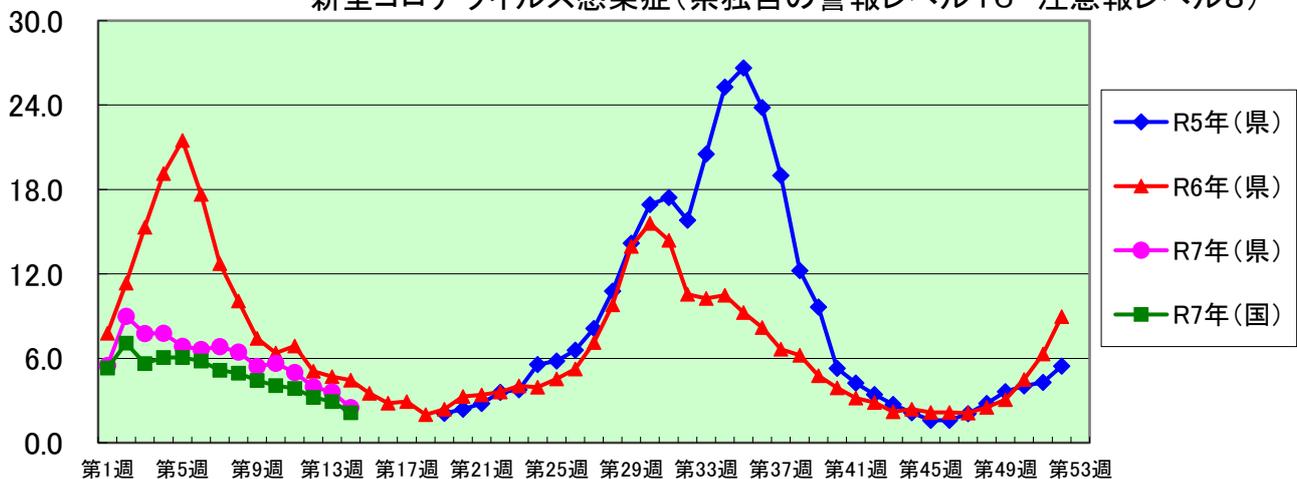
インフルエンザ

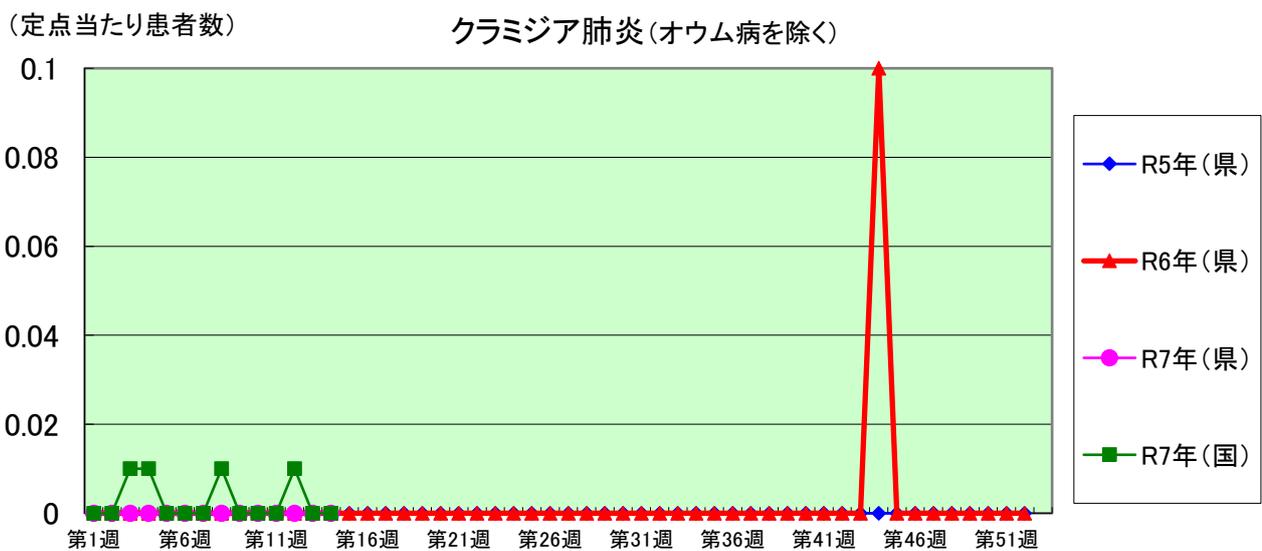
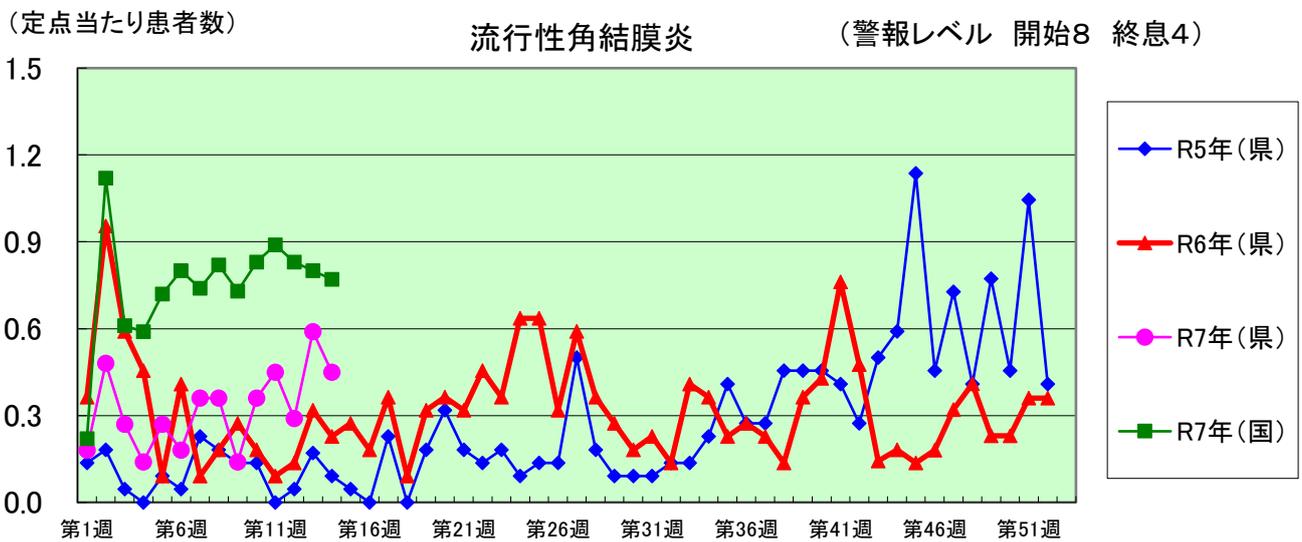
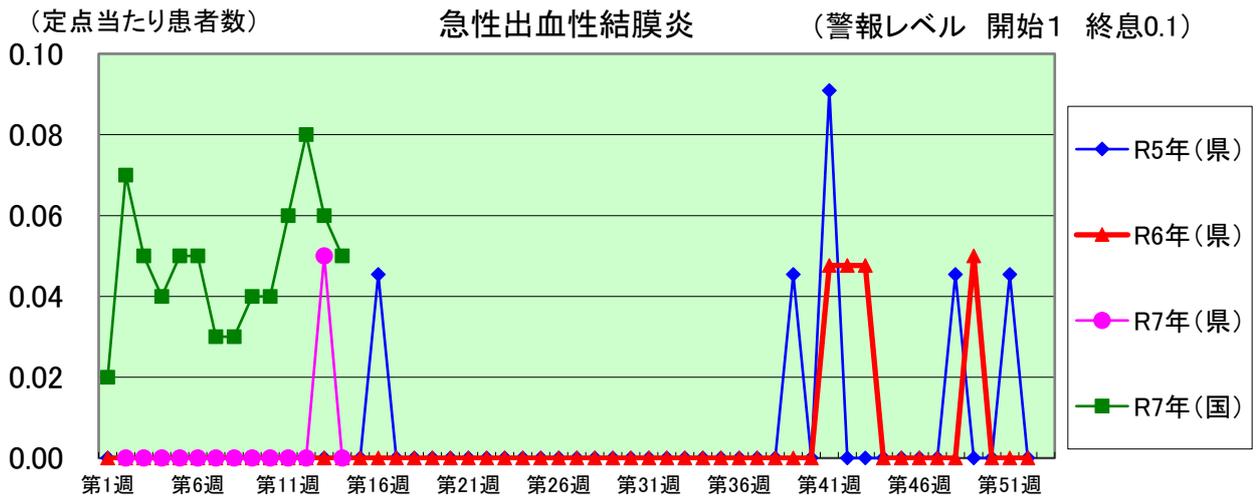
(警報レベル 開始30 終息10 注意報レベル 開始10 流行開始の目安 1)



(定点当たり患者数)

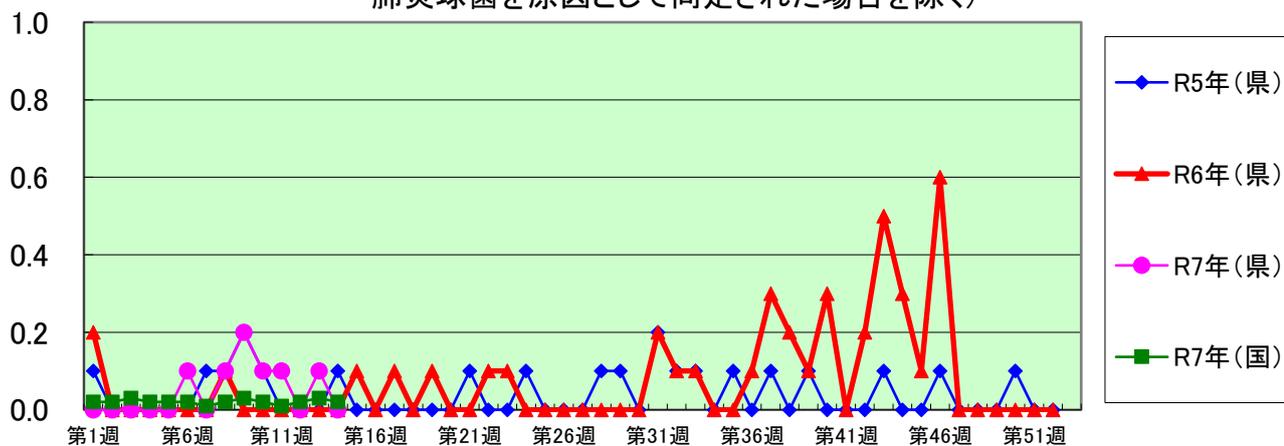
新型コロナウイルス感染症(県独自の警報レベル16 注意報レベル8)





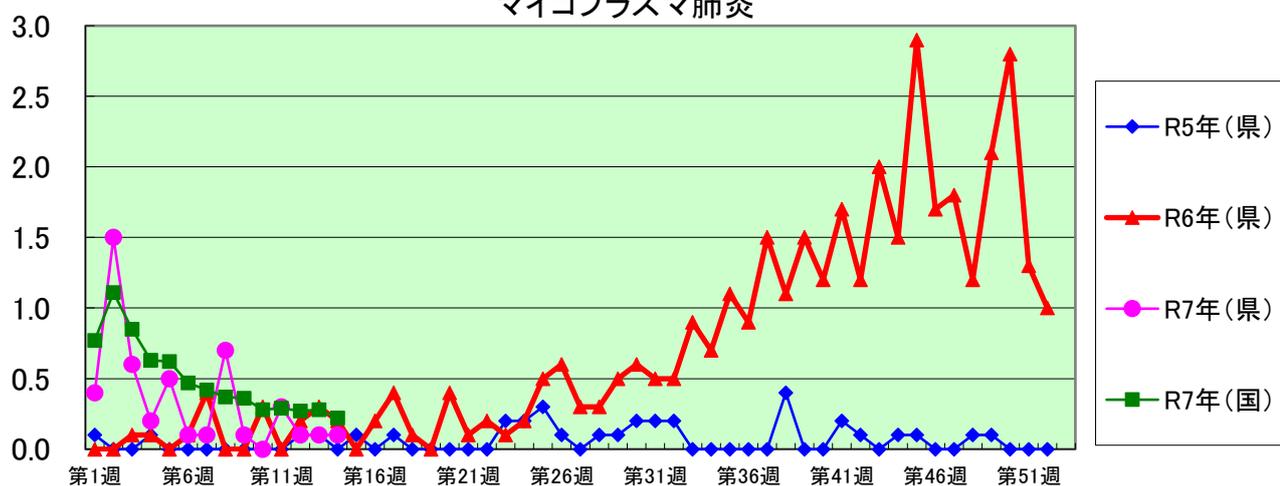
細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)

(定点当たり患者数)



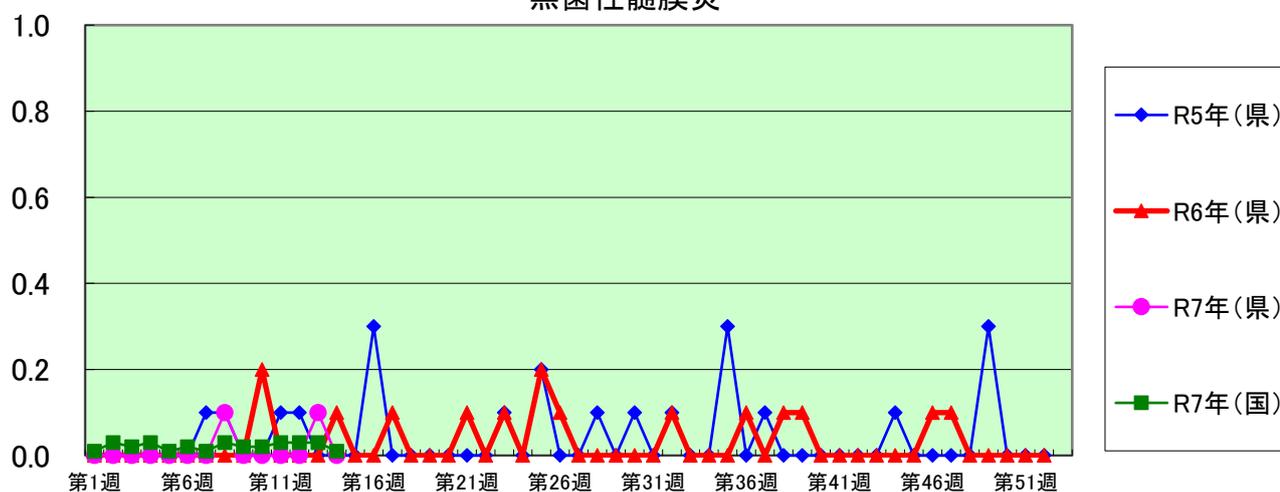
マイコプラズマ肺炎

(定点当たり患者数)



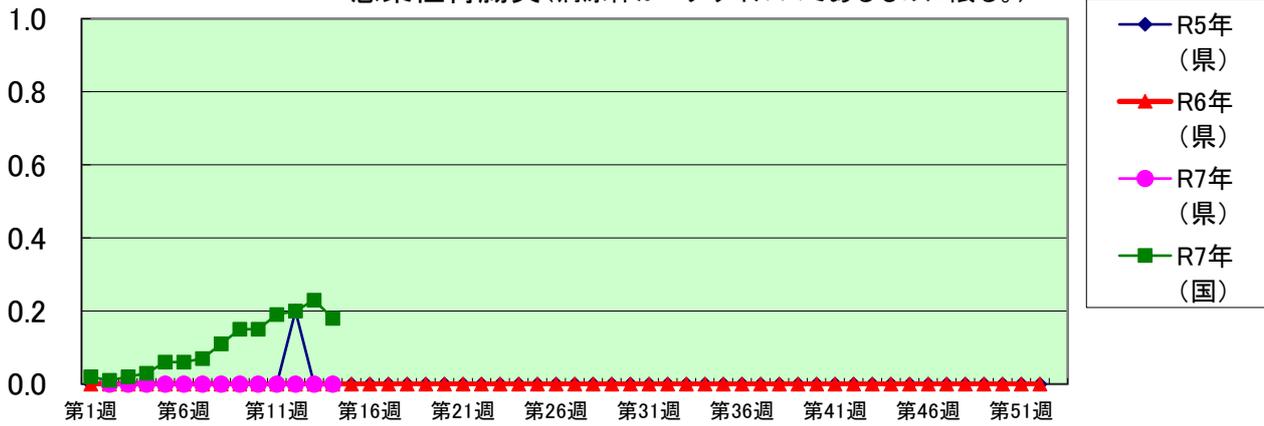
無菌性髄膜炎

(定点当たり患者数)



(定点当たり患者数)

感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2025年 2 月

	静岡県							全国				
	9月	10月	11月	12月	1月	今月	計	11月	12月	1月	今月	計
性器クラミジア感染症	53	47	39	39	46	32	256	2,340	2,074	2,217	2,018	8,649
性器ヘルペスウイルス感染症	15	22	15	13	16	19	100	748	840	798	741	3,127
尖圭コンジローマ	9	17	10	12	9	8	65	502	500	492	441	1,935
淋菌感染症	10	15	7	6	5	5	48	640	673	701	531	2,545
性器クラミジア感染症(男)	19	18	11	17	14	10	89	1,168	1,056	1,115	1,001	4,340
性器クラミジア感染症(女)	34	29	28	22	32	22	167	1,172	1,018	1,102	1,017	4,309
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	5	12	6	5	8	3	39	293	327	296	271	1,187
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	10	10	9	8	8	16	61	455	513	502	470	1,940
尖圭コンジローマ(男)	3	8	4	4	5	5	29	330	330	324	285	1,269
尖圭コンジローマ(女)	6	9	6	8	4	3	36	172	170	168	156	666
淋菌感染症(男)	8	13	5	5	5	3	39	487	503	535	396	1,921
淋菌感染症(女)	2	2	1	1	-	2	8	153	170	166	135	624
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	18	13	15	28	32	36	142	1,213	1,318	1,495	1,256	5,282
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				-	-	-		83	86	116	78	363
薬剤耐性緑膿菌感染症				-	-	-		5	11	6	5	27

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2025年 2 月

	静岡県						全国			
	9月	10月	11月	12月	1月	今月	11月	12月	1月	今月
性器クラミジア感染症	1.77	1.57	1.30	1.30	1.53	1.07	2.39	2.13	2.28	2.07
性器ヘルペスウイルス感染症	0.50	0.73	0.50	0.43	0.53	0.63	0.76	0.86	0.82	0.76
尖圭コンジローマ	0.30	0.57	0.33	0.40	0.30	0.27	0.51	0.51	0.51	0.45
淋菌感染症	0.33	0.50	0.23	0.20	0.17	0.17	0.65	0.69	0.72	0.54
性器クラミジア感染症(男)	0.63	0.60	0.37	0.57	0.47	0.33	1.19	1.08	1.15	1.02
性器クラミジア感染症(女)	1.13	0.97	0.93	0.73	1.07	0.73	1.20	1.04	1.13	1.04
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.17	0.40	0.20	0.17	0.27	0.10	0.30	0.34	0.30	0.28
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.33	0.33	0.30	0.27	0.27	0.53	0.46	0.53	0.52	0.48
尖圭コンジローマ(男)	0.10	0.27	0.13	0.13	0.17	0.17	0.34	0.34	0.33	0.29
尖圭コンジローマ(女)	0.20	0.30	0.20	0.27	0.13	0.10	0.18	0.17	0.17	0.16
淋菌感染症(男)	0.27	0.37	0.17	0.17	0.17	0.10	0.50	0.52	0.55	0.41
淋菌感染症(女)	0.07	0.07	0.07	0.27	0.13	0.10	0.16	0.17	0.17	0.14
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.80	1.30	1.50	2.80	3.20	3.60	2.53	2.75	3.13	2.62
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				-	-	-	0.17	0.18	0.24	0.16
薬剤耐性緑膿菌感染症				-	-	-	0.01	0.02	0.01	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2025年 2 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	32	1.07	19	0.63	8	0.27	5	0.17
賀茂
熱海	1	1.00	3	3.00	-	-	-	-
東部	1	0.20	2	0.40	-	-	-	-
御殿場	-	-	1	1.00	-	-	-	-
富士	7	2.33	3	1.00	1	0.33	1	0.33
静岡市	8	1.33	5	0.83	5	0.83	-	-
中部	6	1.50	4	1.00	-	-	2	0.50
西部	9	1.80	-	-	1	0.20	2	0.40
浜松市	-	-	1	0.20	1	0.20	-	-

保健所名	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	36	3.60	-	-	-	-
賀茂	1	1.00	-	-	-	-
熱海	2	2.00	-	-	-	-
東部	4	4.00	-	-	-	-
御殿場
富士	1	1.00	-	-	-	-
静岡市	22	11.00	-	-	-	-
中部	-	-	-	-	-	-
西部	3	3.00	-	-	-	-
浜松市	3	1.50	-	-	-	-

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

インフルエンザ施設別発生状況(学級閉鎖)について

2025年

第14週

3/31 ~ 4/6

保:保育園 幼:幼稚園 小:小学校 中:中学校 高:高等学校
 特支:特別支援学校 こ:こども園 高専:高等専門学校

市町	学級閉鎖があった 学校・園の施設種別	保	幼	小	中	高	特支	こ	高専	今週 合計	前週	今シーズン 合計
下田市	学校・園の数									0	0	1
	学校・園の患者数合計									0	0	35
東伊豆町	学校・園の数									0	0	3
	学校・園の患者数合計									0	0	38
河津町	学校・園の数									0	0	0
	学校・園の患者数合計									0	0	0
南伊豆町	学校・園の数									0	0	4
	学校・園の患者数合計									0	0	35
松崎町	学校・園の数									0	0	1
	学校・園の患者数合計									0	0	9
西伊豆町	学校・園の数									0	0	1
	学校・園の患者数合計									0	0	5
熱海市	学校・園の数									0	0	1
	学校・園の患者数合計									0	0	2
伊東市	学校・園の数									0	0	4
	学校・園の患者数合計									0	0	77
沼津市	学校・園の数									0	0	22
	学校・園の患者数合計									0	0	295
三島市	学校・園の数									0	0	17
	学校・園の患者数合計									0	0	258
裾野市	学校・園の数									0	0	10
	学校・園の患者数合計									0	0	202
伊豆市	学校・園の数									0	0	2
	学校・園の患者数合計									0	0	62
伊豆の国市	学校・園の数									0	0	7
	学校・園の患者数合計									0	0	86
函南町	学校・園の数									0	0	5
	学校・園の患者数合計									0	0	77
清水町	学校・園の数									0	0	10
	学校・園の患者数合計									0	0	147
長泉町	学校・園の数									0	0	4
	学校・園の患者数合計									0	0	63
御殿場市	学校・園の数									0	0	30
	学校・園の患者数合計									0	0	402
小山町	学校・園の数									0	0	6
	学校・園の患者数合計									0	0	81
富士市	学校・園の数									0	0	28
	学校・園の患者数合計									0	0	339
富士宮市	学校・園の数									0	0	9
	学校・園の患者数合計									0	0	177
静岡市清水区	学校・園の数									0	0	19
	学校・園の患者数合計									0	0	266
静岡市葵区	学校・園の数									0	0	32
	学校・園の患者数合計									0	0	505
静岡市駿河区	学校・園の数									0	0	19
	学校・園の患者数合計									0	0	274

インフルエンザ施設別発生状況(学級閉鎖)について

2025年 第14週 3/31 ~ 4/6

保:保育園 幼:幼稚園 小:小学校 中:中学校 高:高等学校
 特支:特別支援学校 こ:こども園 高専:高等専門学校

市町	学級閉鎖があった 学校・園の施設種別	保	幼	小	中	高	特支	こ	高専	今週 合計	前週	今シーズン 合計
島田市	学校・園の数										0	14
	学校・園の患者数合計										0	158
焼津市	学校・園の数										0	20
	学校・園の患者数合計										0	293
藤枝市	学校・園の数										0	27
	学校・園の患者数合計										0	340
牧之原市	学校・園の数										0	5
	学校・園の患者数合計										0	105
吉田町	学校・園の数										0	2
	学校・園の患者数合計										0	40
川根本町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
磐田市	学校・園の数										0	18
	学校・園の患者数合計										0	222
掛川市	学校・園の数										0	22
	学校・園の患者数合計										0	256
袋井市	学校・園の数										0	17
	学校・園の患者数合計										0	222
湖西市	学校・園の数										0	12
	学校・園の患者数合計										0	145
御前崎市	学校・園の数										0	3
	学校・園の患者数合計										0	50
菊川市	学校・園の数										0	6
	学校・園の患者数合計										0	61
森町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
浜松市中央区	学校・園の数										0	86
	学校・園の患者数合計										0	1,605
浜松市浜名区	学校・園の数										0	26
	学校・園の患者数合計										0	484
浜松市天竜区	学校・園の数										0	3
	学校・園の患者数合計										0	25
県内合計	学校・園の数										0	496
	学校・園の患者数合計										0	7,441
2024-2025 シーズン 施設別合計	学校・園の数	6	24	298	93	63	5	7				
	学校・園の患者数合計	61	248	4,270	1,381	1,317	95	69				

・第14週のインフルエンザの定点当たり患者数は0.8で流行レベルを下回りました。
 ・咳エチケット※、手洗い、換気等、基本的な感染対策をお願い致します。
 (※ 咳をするときに服のそでやハンカチで口鼻をおおう、マスクの適切な着用が可能なら咳の出るときはマスクを着ける)

新型コロナウイルス変異株ゲノム解析結果について

(2月24日(月)～3月23日(日)分の集計)

2月中旬～3月中旬に発症した方について、国立遺伝学研究所(三島市)において実施したゲノム解析の結果は、以下のとおりです。(県所管分)

結果判明日：3月7日(金)・3月16日(日)・3月23日(日)

<変異株の件数>

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株	0	0	1	0	0	0	13	14
	(内BA.2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(6)	(6)
	(内BA.5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	(内組換体)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(7)	(8)

本県の変異株の判明状況(3月23日時点)

		合計	県	静岡市	浜松市
合計 (デルタ株+オミクロン株)	判明者数	11,251	6,400	2,480	2,371
	(前回からの増加数)	(24)	(14)	(0)	(10)
デルタ株 (R3.5.16～)	判明者数	2,411	1,256	648	507
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
オミクロン株 (R4.1.1～)	判明者数	8,840	5,144	1,832	1,864
	(前回からの増加数)	(24)	(14)	(0)	(10)
※オミクロン株 【内、BA.2】	判明者数	2,123	1,103	560	460
	(前回からの増加数)	(9)	(6)	(0)	(3)
※オミクロン株 【内、BA.5】	判明者数	3,515	2,399	831	285
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、組換体】	判明者数	878	517	106	255
	(前回からの増加数)	(15)	(8)	(0)	(7)

※県：国立遺伝学研究所および国立感染症研究所でゲノム解析を実施

静岡市：国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市：浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（3月23日時点）

	オミクロン株判明数				全オミクロン株に占める割合		
	合計	内、BA. 2	内、BA. 5	内、組換体	BA. 2	BA. 5	組換体
2月26日（月）～ 3月24日（日）	63	50	0	13	79.4%	0.0%	20.6%
3月25日（月）～ 4月21日（日）	82	72	0	10	87.8%	0.0%	12.2%
4月22日（月）～ 5月26日（日）	19	19	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
5月27日（月）～ 6月23日（日）	40	40	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
6月24日（月）～ 7月21日（日）	90	90	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
7月22日（月）～ 8月25日（日）	116	116	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
8月26日（月）～ 9月22日（日）	107	106	0	1	99.1%	0.0%	0.9%
9月23日（月）～ 10月20日（日）	27	26	0	1	96.3%	0.0%	3.7%
10月21日（月）～ 11月24日（日）	31	31	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
11月25日（月）～ 12月22日（日）	21	17	0	4	81.0%	0.0%	19.0%
12月23日（月）～ 1月26日（日）	44	26	0	18	59.1%	0.0%	40.9%
1月27日（月）～ 2月23日（日）	28	14	0	14	50.0%	0.0%	50.0%
2月24日（月）～ 3月23日（日）	24	9	0	15	37.5%	0.0%	62.5%

ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む）

（2月23日（月）～3月23日（日）判明分）

系統名※	判明数	割合
JN. 1	0	0.0%
KP. 3	9	37.5%
その他のKP	0	0.0%
XEC	15	62.5%
XDQ	0	0.0%
その他	0	0.0%
計	24	100.0%

XEC系統15件のうち、XECが最多で11件

※国立感染症研究所「新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の変異株 BA. 2.86 系統について 第2報」及び「新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の変異株 KP.3 系統について」において、「ウイルス学的・疫学的・臨床的知見の収集と、国内外での発生状況の監視を継続する必要がある」とされている系統等、重要と思われる変異株の系統を掲載しています。

2025年4月11日公開

静岡県感染症対策課 055-928-7220